

敵機若し帝都を襲はば

今夏の防空演習と防衛団の使命

石本五雄 東京警備司令部参謀 陸軍歩兵大尉

特 243

539

日本講演会第一號

日本講演會



* 0058100000 *

0058100-000

特 243-539

敵機若し帝都を襲はば

石本五雄・〔述〕

日本講演会

昭和8

AJH

敵機若し帝都を襲はむ

今夏の防空演習と防衛團の使命

石本五雄 東京警備司令部参謀 陸軍歩兵大尉

特 243

539

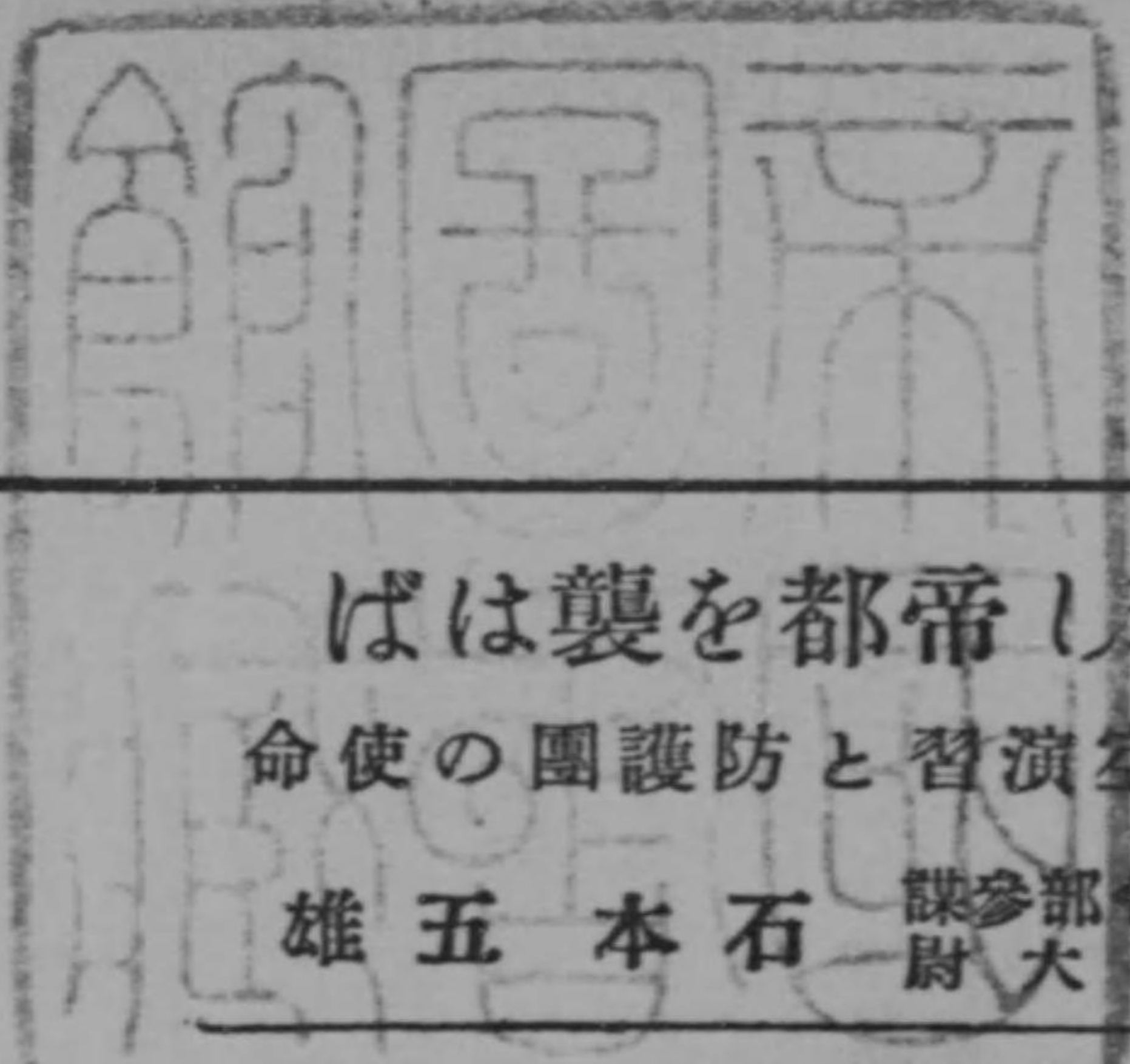
十一月五日發行

(日本講演第一號)

本日講演會



特243
539



敵機若し帝都を襲はば
今夏の防空演習と防衛團の使命
石本五雄 陸軍歩兵大尉 東京警備司令部参謀



石本五雄氏略歴

昭和 六年	昭和 五年	昭和 三年	大正 十五年	大正 十二年	大正 十一年	大正 七年	明治 三十年
補東京警備参謀	補第八師團参謀	官補陸軍士官学校教	任陸軍歩兵大尉	陸軍大學卒業	任陸軍歩兵中尉	任歩兵少尉 補歩兵第五十七聯隊附	六月十八日東京市小石川區竹早町九番地に生る

昭和八年四月二十六日
東京市芝區公會堂
東京市芝區役所
東京市本會
講演會
主催
速記



目次

▽緒論……………	(一)	▽今夏の防空演習……………	(一九)
▽恐るべき敵機の襲来……………	(三)	▽防空監視哨……………	(三〇)
▽燃え易い木造家屋……………	(五)	▽三十里の近くより東京の空襲が可能……………	(三一)
▽一機で百ヶ所の火元をつくる……………	(六)	▽百數十臺を積載する航空母艦……………	(三三)
▽貧弱な帝都の消防設備……………	(七)	▽敵機發見の報告が東京に届くまで……………	(三四)
▽敵機を國內に入れない事が防空の第一義……………	(八)	▽東京警備司令部の任務……………	(三五)
▽千里を一飛び出来る……………	(九)	▽防護團は何故生れたか……………	(三六)
▽ロシヤより東京を空襲したら……………	(二)	▽防護團とは如何なるものか……………	(三六)
▽アメリカより東京を空襲したら……………	(三)	▽第一、警備班……………	(三九)
▽大和魂と各國魂……………	(四)	▽火災盜難の取締……………	(四〇)
▽日本を地理より観る……………	(六)	▽第二、警報班……………	(四一)
▽歐洲大戰の實例……………	(八)	▽燈火管制とは如何なることか……………	(四二)
▽ドイツ飛行機の空襲に狼狽したイギリス……………	(九)	▽防護警報……………	(四三)
▽だん／＼整つたロンドンの防空施設……………	(三)	▽第三、防火班……………	(四六)
▽ロンドンとパリで六千の死傷……………	(四)	▽第四、交通整理班……………	(四七)
▽赤裸の東京……………	(六)	▽第五、避難所管理班……………	(四八)
▽國家も市民も餘りにも無關心……………	(八)	▽爆彈に對する避難……………	(四八)
		▽火災に對する避難……………	(四九)

毒ガスに對する避難……………	(五〇)	▽防空演習の概要……………	(七二)
▽第六、防毒班……………	(五三)	▽燈火管制の實施要領……………	(七六)
▽第七、工作班……………	(五五)	▽いよゝゝ演習が初まつたら……………	(七八)
敵の目標物を隠蔽する……………	(五五)	▽爆彈の威力を實演する……………	(七九)
襲來をうけての應急修理……………	(五七)	▽平時からの訓練と準備が大切……………	(七九)
▽第八、救護班……………	(五八)	▽防空と我が國の現状……………	(八一)
怪我人や毒に倒れた者の應急治療……………	(五八)	▽ロシアと日本……………	(八一)
患者の運搬……………	(五九)	▽東を征服することが傳統的ロシア精神……………	(八三)
治療手當と看護……………	(五九)	▽恐るべきロシアの軍備……………	(八四)
▽第九、配給班……………	(六〇)	▽日露戦争が起るかどうか……………	(八五)
▽あらゆる方面の人を網羅する防護團……………	(六一)	▽アメリカと日本……………	(八七)
▽協和協同が防護團本來の精神……………	(六一)	▽ペルリ以來の傳統的外交政策……………	(九〇)
▽何れの班の活動も協同である……………	(六三)	▽米國の眼は日本に向いてゐる……………	(九一)
▽防毒面マスクの實物……………	(六四)	▽歐洲と日本……………	(九三)
▽一般市民は如何にして毒瓦斯を防ぐか……………	(六六)	▽國際聯盟と日本……………	(九三)
▽今夏の防空演習の目的……………	(六七)	▽日本の頼みは日本人自身である……………	(九四)
▽東京を守る爲めの犠牲……………	(七〇)	▽日本精神と防護團精神……………	(九五)
▽我國嚆矢の燈火管制……………	(七二)	▽いざといふ時の備へ……………	(九六)

敵機若し帝都を襲はば

今夏の防空演習と防護團の使命

東京警備司令部參謀 陸軍歩兵大尉 石本五雄

緒言

私が只今御紹介に與りました東京警備司令部の石本でございます。本日は來る八月に實施されます防空演習に關しまして説明致すべく參つたのであります。本日はお忙しい中を多數この區の各方面の有力な方々の御集りの席上で今申した講演を致すことが出來ますのは私の非常に光榮とする所であります。

八月の防空演習のことに關しましてお話をする爲には、先づ一般の防空と云ふことが如何にして行はるべきものであるか、又最近防護團々々と云ふことを盛んに申して居りますが、何

故防護團と云ふものが必要であらうか、又その組織内容と云ふものはどう云ふものであらうかと云ふことを先づ初めに説明を致しまして、然る後に本年八月に於てそれ等が如何に運用實施されるかと云ふことに關し説き及びたいと思つて居るのであります。

さて最近防空々と盛んに言はれて居りますが、皆様方の間に言はれてゐる防空と云ふものと吾々軍人の考へて居ります防空と云ふものゝ間にはその間に少し差があるのであります。即ち吾々の防空と云ふのは敵の飛行機を日本國土の上空に來させないやうにしようと思ふことを以て其の第一と考へて居るのであります。併しながら世間一般に言はれて居ります防空と云ふのは愈々敵の飛行機が日本國土の上に現はれた際に如何に之を處置すべきか、更に又其れより受けた災害を如何にして最少限に止むべきかと云ふことを以てして居るのであります。勿論皆様方に直接關係があるのは今申した後の場合でありますから、本日も主として後の場合に付て申上げたいと思ふのでありまして本年八月行はるゝ防空演習も亦後の場合に對する研究なのであります。

恐るべき敵機の襲來

彼の大正十二年の震災當時關東附近がひどい目に會はされたことは皆様方能く御承知の通りであります。あの震災のやうな状態が吾々の將來に於きまして再び襲ひ來るかどうかと云ふやうなことは、吾々が將來生活して行く上に於きまして非常に考へなければならぬことであらうと思ひます。統計上から觀ますならば、何年かの後には再びあゝ云ふことが來ると云ふことも考へられるのでありますが、現在の科學の力に於きましては何時來るかと思ふことを測り知ることが先づ出來ないのであります。然るにあゝ云ふやうな悲惨事を地震とか天變とか云ふ自然の力に依らずして、人の力を以て現出させることが出來るとしたならば其は誠に恐しい事なのであります。然るにこれは残念乍らと申しませうか、只今でも直にこの現場に現することが出來るのであります。然らばそれは一體何に依つて現することが出來るのかと申しますならば、これが本日先づ皆様方に説明したいと思ふ所の飛行機に依る襲撃なのであります。

一度飛行機が襲撃して参りますや、空から落す爆弾に依りまして、地震の當時地面が震つて家屋が壊されたやうな状態を現出することが出来ます。又焼夷弾と云ふ火災を起す弾を投げ付けることに依りまして、猛烈な火災を起すことが出来ます。更に又瓦斯弾、毒瓦斯の入つた弾を落すことに依りまして、震災當時吾々が夢想だにしなかつた所の毒瓦斯をこの地上に漲らすことが出来るのであります。そこで今から此等飛行機から投下する爆弾に就て少し説明を致しますが、家屋であるとか、橋であるとか云ふやうなものを破壊せんとする爆弾（投下地雷弾と云ひます）は現在に於きましては、その大きさが段々大きくなり、火薬の力も増大して居りますが、大きいのにありますと一個で千疋（一屯）を超ゆるものがあります。さう云ふやうな大きなものになりますと、これが巧く命中した場合に於きましては、丸ビルの如きものでも之を大半破壊し去ることは容易なのであります。併しながら斯う云ふやうな大きな爆弾は飛行機に積んで來ましても一つとか或は二つしか積みませぬ。巧く命中して効力があれば大きな力を出しますけれども、これが巧く當らないで、例へば隅田川の中に落込んだやうな場合を考へますなら

ば、これはそこに水烟を立て、終るやうな状態になります。

燃え易い木造家屋

そこで吾々の恐れて居りますのは寧ろさう云ふやうな大きな爆弾にあらずして、もつと別のものがあります。即ち日本の現在各都市に於ける家屋の状態を見ますならば、大部分と云ふものは最も燃え易い木造から出來て居ります。そこで火災を起す所の弾を投げ付けられると云ふことは最も心配なのであります。而もその火災を起す焼夷弾は今申した爆弾のやうな大きなものである必要はなく、僅に十疋位で結構であります。故に、一噸の爆弾を積める飛行機であれば焼夷弾ならば百發積めると云ふことになります。この焼夷弾はその内容がテルミットと云ふものから出來て居るのであります。そのテルミットは一般に於ても一部使はれて居ります。時々皆様も御覽になると思ひますが、レールを焼き切る時によく用ひられるのであります。青い光でシューツと云ふ音がして、使ふ人が眼鏡を掛けて居ります。

このテルミットは爆發した時に於きまして立所に三千度の熱を出すのであります。鐵の如きものも千五百度の熱を出せば溶けるのでありますから、三千度の熱を出しますれば、その熱で火力が百米四方に及び、その火に對しましては蒸汽唧筒を以て水を掛けても中々効力がありません。又十米以内には熱くて近寄れません。砂や泥を掛けても少量のものならば一緒になつて融けてしまふのであります。況んや十米位の處から砂や泥等のさら／＼したものを投付けると云ふことが既に困難なのであります。最近の様に道路が良く輔装されますと投げる土砂も亦無いのであります。故に之に對しては已むを得ず附近の家屋を破壊して、所謂破壊消防などを行はなければならぬやうな場面が多くなるのではないかと考へて居ります。

一機で百ヶ所の火元をつくる

彼の大震災の時に於きまして、東京に於て火災を起した火元は百三十五ヶ所でありまして、其中で小火の中に消したものを除きますれば火元は九十二ヶ所であつたと記憶して居りま

す。この約百ヶ所の火元を造るには飛行機一臺で十分にその目的を達することが出来るのであります。併しながら私等も百發落したものが百發とも悉く有効であるとは考へて居りませぬ。中には故障で破裂しないものもあるかも知れない。或は海や河に落込んで効力がないものもありませう。併し少くとも百發落せば其半分の五十發は効力があると思ひます。故に二噸積める飛行機では二百發の彈を投下出来ますから之を落せば百ヶ所の火元を作ることとは容易であります。

貧弱な帝都の消防設備

大東京になりました現在に於て東京市にある蒸汽唧筒の數は約二百二十臺でありまして、これが平常修理に出たり故障があつたりしますのを差引いて完全に使へる蒸汽唧筒は約二百臺あります。それですから二百ヶ所の火災が起りますれば一箇所に對して蒸汽唧筒が一臺當りであります。故に同時に二百ヶ所以上に火災が起きたとするならば、その火元に對しまして蒸汽唧

筒が一臺も向ふことが出来ない所があると云ふことになります。而も斯う云ふやうな焼夷彈を落して火災を起す時には必ずや又其處には毒瓦斯彈を落とすと云ふことが想像されるのでありまして毒瓦斯に對して何等か防禦の方法を講じなければ火元に接近することが出来ない。瓦斯に對する防禦の方法を講ずれば火災に對して消防する力を殺がれると云ふことになります。洵に困つた問題でありまして、これだけを以てしましても如何に空襲された場合の状態が震災以上に慘烈慘酷なものであるかと云ふことを想像し得るのであります。

敵機を國內に入れないことが防空の第一義

故にこのことを考へますと防空と云ふものは矢張り敵の飛行機を帝都内に入れてはいけないうちでも國外に於て之を驅逐して一步も國內に入れないと云ふ所謂防空の第一義を實行することが何としても必要となつて來るのであります。併ながら果してそれが可能でありませうか陸軍、海軍と致しましては國民にさう云ふ危害を與へない爲に先づ陸上方面に於て敵の飛行場

を占領し、海上方面に於て敵の艦隊を撃破して飛行機の來れないやうに致したいと思ふのであります。陸上に於ては飛行場を失つてもその後方に於て又飛行場を作ることには容易でありますし海上に於きましては御承知のやうに海軍の比率は五・五・三を以て押付けられて居る。彼の歐洲大戰の當時に於きまして、イギリスがドイツに對して十六割と云ふ絶對優勢の海軍力を持つて居りながら、ひどくドイツの空襲を受けた事實は明瞭なことであります。之を考へるならば日本が僅か六割の海軍を以て果してこの廣い海面を侵入して來る敵の飛行機に對し完全に之を撃破することが出来るでありませうか。終極に於て我海軍が勝利を得べきことは確信するのであります。故に吾々としてはさうした時に對する處置を研究し準備をして置くことが決して無駄ではない。否必要であることを痛感せざるを得ないのであります。

千里を一飛び出来る

斯の如く將來の戦争と云ふものは戦場のみが飛行機等に依る爆撃を受ける場面ではありませぬ。飛行機を使ひまして遠く敵國の首府或は商工業、政治、交通等の中心地を衝いて人心を動亂せしめ、國民に至大の苦痛を與へて以て戦争行爲に反對を起させて勝利を得ようとするのがその遣り方でありませぬ。故にさう云ふ任務に當る飛行機は澤山の爆弾を積んで成べく遠く迄進んで行けるやうなものでありませぬ、謂所重爆撃機であります、そして旅客用飛行機の如きは之を改造することによりまして此目的に使用することも出来るのであります。これ等の爆撃機で現在最も進歩して居るものは、先程から一寸お話ししましたやうに大體爆弾を二噸即ち二千疋程積むことが出来、ガソリンのタンクに油を充滿した場合に於ては途中着陸し或は空中に於て油の補給を受けることなく、四千疋即ち千里を一飛びにすることが出来るのであります。固より私共は斯の如き飛行機が四千疋も一飛びに出来るのは天候氣象の好い場合であり、又プロペラ發動機等の具合の好い時であると考へて居ります。故に實際はその中から幾らかを差引きまして三千疋即ち七百五十里は確實に一息に飛べるものであると云ふことを考へて居るのであります。

ます。

併し更に陸上の飛行機で申しますれば、飛行機は自分の飛行場を出發してさうして他國の空に來て爆弾を落し更に元の飛行場に歸ることになりますから、この往復の距離が今申した三千疋であります、故に飛行場から飛んで行つて爆撃し得る距離は其の半分の千五百疋になるのであります、その距離を以て我等は之を行動半径と名付けて居ります。即ち飛行場から半径千五百疋の地域には何處へでも飛行機が行つて爆撃し得ると云ふ意味であります。故に之を又別の方面から考へて見ますと、東京を基準として東京を去る千五百疋即ち三百七十五里以内の地點に飛行場があり其處に今申したやうな飛行機が居るとすれば、東京は飛行機の襲撃に對して洵に危険に曝されて居ると云ふことを謂はざるを得ないのであります。

ロシヤより東京を空襲すれば

然らば東京の近所にさう云ふ所があるでありませうか。先づさう云ふ觀察をする際に於て吾

々が第一に考へなければならぬのは何處でありませう。これは外でもありませぬ。勞農ロシヤであります。その勞農ロシヤの中で日本に最も近い重要な地點は彼の有名なウラジオストックであります。このウラジオストックは東京とどの位の距離にあるかと申しますと、これは約千軒二百五十里程でありまして、今申した三百七十五里に對して甚だ近いのであります。若も假にウラヂオストックを飛行機の根據地と致しますれば、日本の國內に於きましては臺灣を除いた全地域が完全に飛行機に依つて爆撃し得るの距離以内あるのであります。

支那より東京を空襲したら

その次に私共の考へなければならぬ處は何處でありませう。それは支那であります。支那は現在に於きましては今申したやうな立派な飛行機は有つて居りませぬけれども、飛行機などと云ふものは年々進歩するものであり又金さへ出せば幾らでも買へるものであります。そして賣込みたがつてゐる國も少くないのであります。支那に於て吾々の最も注目しなければならぬ

い處は然らば何處でありませう。これは昨年以來殊に有名になつた彼の上海であります。然らばこの上海は東京とどの位の距離にあるかと申しますと、ざつと千五百五十軒約三百九十里ばかりあるのであります。今申した三百七十五里と略々同じであります。是亦東京は危い處に立つて居ると謂はざるを得ません。

アメリカより東京を空襲したら

その次に考へなければならぬ處は何處でありませう。これは申す迄もなくアメリカであります。そのアメリカの中で吾々が注目すべき處は何處でありませうか。それは臺灣の南にあるフィリッピンであります。然らばそのフィリッピンからは東京はどの位の距離にあるかと申しますと、これは三百七十五里より遠いのであります。四百四五十里あります。故にフィリッピンから考へるならば東京は一先づ安心であると云ふ風に考へられるのであります。併しこれは飛行機が原則として飛行場を出發して東京の空に爆弾を落し、更に元の飛行場に歸る往復飛行

の場合を考へてゐるからでありまして、假にその飛行機を操縦する人が東京の空に行つて爆弾を落せば自分の任務目的は達成して居る、何も再びおめく自分の飛行場に歸る必要はない、若しもまだガソリンタンクに油が残つて居れば火でも附けて東京の真中に轉り込んでやれば宜しいと云ふやうな勇敢な者があつたとしますれば、この飛行場から飛んで行ける距離は三千料となるのでありまして、斯うなるとフィリッピンから東京はおるか北海道、樺太までも飛んで行けると云ふ計算になるのであります。

大和魂と各國の魂

併ながら斯の如き亂暴と言はうか無暴と言ひませうか、このやうな行動に出る者が果してあるかどうか、それは確に一つの疑問であります。併ながら私はこの壇上から皆様方に斷言したいことがあります。それは外でもありません。若しも位置を換へて假りに日本に於て斯う云ふ必要が起つたとするならば、そして帝國の軍人が其の操縦者である限り千人が千人とも全部斯

の如き行動に出ると云ふことを申し上げたいのであります。(拍手)これは固より吾々日本人は祖先傳來の大和魂といふ精神を有つて居る。この精神力の然らしむる所であると云ふことを皆様方は仰るでありませう。洵にその通りであります。併ながら吾々日本人に大和魂がある如くアメリカ人にはアメリカ魂があり、(ヤンキー魂とも云つて居ります)ロシア人にはロシア魂(スラヴ魂とも云てゐます)支那人にも支那魂と云ふものがあります。勿論これ等の魂は之を大和魂と比較されては迷惑千萬なことではありますが、アメリカ魂にして見たところが、千人の中に十人位は斯う云ふことをする者があるかも知れない。ロシア魂にしても五六人はあるかも知れない。支那魂にしても稀に一人や二人はあるかも知れないと思ふのであります。

のみならず、彼等の精神は吾々の精神とは違つた處がありまして、日本人ならば今のやうな任務を終了すれば命を惜まないのではありませんが、彼等としては精神が變つてゐるだけに別な好い手があつて爆弾を落して了へば自分の任務は終了である。任務が終了すれば後は白旗を出して降参すると云ふ手があるのであります。御存知のやうに彼の日露戦争に於きまして旅順港

で最後にステツセルは白旗を出して降参して居ります。青島戦闘に於きましても最後に獨逸の提督は白旗を出して降参して居ります。最近に於きまして滿洲事變が始りました當初、長春南万の南嶺に於きまして支那軍が白旗を出したので、日本軍は敵が降参したものだと思つて安心して近寄ると機關銃でばた／＼撃つて非常に損害を受けたと云ふことは皆様方に耳新しい事實であると思つて居ります。故に彼等にして東京を襲ふて來ることがあると假定すれば爆彈の一つや二つは忘れても白旗一本持つて來ることは忘れないだらうと思ひます。斯うなりますと益々この防空と云ふ問題が始末に悪くなつて來るのであります。

日本を地理より観る

次に日本の地理に就て少しお話を致したいと思ふのであります。先程區長さんからもお話がありましたやうに、日本の國は幸にして未だ曾て外國から侮りを受け、侵入を受けたことのない洵に幸福な國であります。その幸福であつた原因は何處にあつたのでありませうか。色々ありま

したが、その中の重要な一つとして日本の國がこの圖でも分るやうに島國であつて、四面海を以て環らされて居る。これが自然の守りとなつて未だ曾て外國から侮りを受けたことがなかつたのが地形上から受けた大きな原因であつたのであります。さてその事柄は果して現在に於ても亦適應さるべきものでありませうか。これは悲しい哉、現在に於きましては島國であつて海を以て環らされてゐると云ふことが國防上、就中防空と云ふ點から見ますれば最も具合の悪い點なのであります。

然らば何故具合が悪いかと云ふと、假にウラヂオに居る飛行機が日本に向つてやつて來ると假想して見ます。するとその飛行機は日本の海岸に到着する途中に於きましては日本海の上を飛んで來れば宜しい。そしてその海上には高射砲があつて砲撃を受けるではなし、防空監視哨と云ふ見張があつて發見されるではなし、大體に於て疊つて居らうが、晴れて居らうが、降つて居らうが東南方に向つてさへ來れば、東京の空に出ることは容易であります。これが大きな島、或は陸であれば海岸に到着した後に更に目標點に入るに相當距離がありますので、その間

に於て高射砲に撃たれ或は監視哨に發見される憂ひがありますが、日本は狭長い島國であるばかりでなく、主なる都會が東京と言ひ、大阪と言ひ、或はその他の工場地帯と云ひ全部が海岸に面して居るのでありますから、飛行機が日本の國土に到着した時が即ち目標の上に到着した結果になるのであります、この點はどの方面から日本に向つて來ても同様であります。

歐洲大戰の實例

併ながら今申したやうなことは一つの假想であります。そして、此れだけではまだ皆様方に空襲と云ふものがピツタリ頭の中に来ないと思ひます。そこで私は今から實例に付てお話をしまして、さうして皆様方に空襲と云ふものゝ状態を考へて戴きたいと思ふのであります。その實例と申しますのは外でもありません。歐洲大戰の當時に於きまして、イギリスが、そして其首府ロンドンが如何に空襲をうけて辛い目に逢つたかと云ふ一事を話しまして之を現在の日本就中東京に移して考へて戴きたいと思ふのであります。彼のイギリスは御承知の如く是亦島國

であります。そして四面海を以て環らされて居たお蔭では亦曾て外の國から侵入を受けたことがありません。彼のナポレオンが十八世紀の初めに於きまして、歐洲全土を馬蹄に蹂躪しましたその威力を以てしても、僅に十里に足らない英佛海峡を飛び越えることが出來ずして、フランスの端から遙かにイギリスの山河を眺めて地團太踏んで口惜しがつたと云ふ歴史は、イギリスの國民が世界に向つて誇つて居るところであります。これが爲にイギリスは國土防衛と云ふやうなことに關しましては至つて不熱心でありました。その上戦争と云ふものはさう突發的に起るものでない。開戦までには相當時間の餘裕がある。その間に逐次にさう云ふ施設をすれば宜いと云ふ考から甚だ不十分な準備であつたのであります。

ドイツ飛行機の空襲に狼狽したイギリス

然るに一九一四年の六月にバルカン半島の一角に於てセルヴィヤの青年の放つた一發のピストルが導火線となつて、遂にその年の八月の初めに彼の歐洲全土を掩ふた世界大戰が始つたの

であります。世界大戦は開始されましたが、当時飛行機はまだ相手の國に深く進入して爆弾を投げると云ふやうに進歩しては居りませぬでしたし、交戦各國亦其全力を擧げて各々其の戦場方面に兵力を使用して居つたのであります。初めてドイツの飛行船がイギリスに到着したのは一九一四年十二月のことであり、始めてドイツの飛行船がイギリスの空に到着したのは翌一九一五年の一月のことです。併し當時に於きましても、まだそれ等の飛行機飛行船はイギリスの上空に達しただけでありまして、まだロンドンの上空迄到着することは出来ませんでした。

ロンドンの上空に初めてドイツの飛行船が到着したのは一九一五年五月末のことです。一度ツエツペリンがロンドンの上空に現はれますや日頃沈着して居る、落着いて居る、秩序統制を重んずると云ふやうなことを以て國民性の誇りとして居りましたイギリス人も大慌てに慌てまして、先づ我先にと地下室に向つて逃込んだのであります。然るに地上室の入口は狭い。そこで其處に逃込む多數の人々を一度に收容することが出来ずして、ロンドン市民は激

の爆弾を見舞はれる前に地下室の入口に於て多數の人が踏潰され蹴飛ばされて死傷者を生じたのであります。更に又當時飛行機を射撃する高射砲は甚だ不十分でありまして僅に砲身が空に向くに過ぎず飛行機を狙ひ射つ間に飛行機は逃げると云ふやうな始末でありました。そこで今度は高射砲を自動車の上に積んで、飛行機が來るとその後を追かけ廻して射撃をしたのであります。さうしますとロンドンの路上には慌てふためいて逃げる市民があり、自動車は空ばかり睨んで全連力で走つて居るのでありますからたまりません。此處にも亦ドイツが空から投げる爆弾の損害を受ける前に自分の方の自動車に蹴飛ばされて多數の死傷者を生じたのであります。更に又高射砲は曲りなりにも出來て居りましたが、高射砲から射つ弾が研究されて居りませぬ。そこで已むを得ず普通の野戦に使ふ所の弾をこの高射砲の中に入れて射撃したのであります。そこで發射された弾は段々上つて行きます。上り切れれば後はその儘下に落ちる。さうすればこれ亦自分で撃つた弾がロンドン市中に落ちて怪我したり死んだりしたものを生じたのであります。斯う云ふ様に散々な不體裁な眞似を致しましたので、ロンドン市民も黙つて居らず、政府

に喰つて掛り、已むを得ず政府も一時フランスの戰場方面に送る大砲或は其他の兵器の製造を中止しまして多数の高射砲を造り、之をロンドン市の廻りに配置したのであります。さうなりますと、ドイツの飛行機は今迄主として晝間來たのでありますが、爾後は晝間來ないで夜間飛んで來る様になりました。夜間飛んで來れば昔から諺にもありますやうに「闇夜に鐵砲」でさつぱり當らない。そこでイギリスが考へたのは即ち照空燈であります。夜間空を照す明りである。それに依つて侵入して來るドイツの飛行機を照して高射砲が射撃します。さうなれば敵もさる者、ドイツは夜間飛んで來ても晴れた晩は來ない。曇つた晩を選んで飛んで來る。雲の上を飛行機が飛んで居りますから、照空燈で照しても雲に遮ぎられて飛行機の所在が解らないさて飛行機の形は今のやうに雲に遮られましたけれども、隠すことの出來なかつたのはプロペラの響であります。そこで更にイギリスの方が考へて何とかしてプロペラの響に依て飛行機のありかを知り以て射撃をしたいと云ふので研究され、進歩しましたのが即ち聽音機であります。この聽音機に依て音の音色、強弱を聽分けて飛行機の種類が何であるか、高さがどの位で

あるかと云ふことを測つたのであります。ところが當時それを使つた所の兵は、飛行機が飛んで來て爆彈を落してあちこちの家が崩れたりするので耳では飛行機の音を聽いて居りますが、眼では矢張それに氣が取られて心があつちに行つたり、こつちへ行つたりするのでどうも成績が宜しくない。そこでイギリスが考へたのはこの聽音機を掌る者に盲人を採用したのであります。これは非常な好成績を収めたと云ふことが文献に現はれて居ります。

だんく整つたロンドンの防空施設

以上の如くロンドンの地方防空設備は整ひましたが併し更に飛行機に對しては單に下から高射砲の準備をして居つただけではいけない。敵が飛行機でやつて來れば此方でも飛行機で對抗せなければならぬと云ふことになりました。そして爆彈を持つて來るやうな飛行機は重い物を積み形も大きく、隨つて又速力も十分出ないし、又宙返りをするとか云ふやうな高等飛行術が出來ない。そこで防禦する飛行機は形は小さくても宜しい航続時間も短くて宜しい然し速力就中上

に喰つて掛り、已むを得ず政府も一時フランスの戰場方面に送る大砲或は其他の兵器の製造を中止しまして多数の高射砲を造り、之をロンドン市の廻りに配置したのであります。さうなりますと、ドイツの飛行機は今迄主として晝間來たのでありますが、爾後は晝間來ないで夜間飛んで來る様になりました。夜間飛んで來れば昔から諺にもありますやうに「闇夜に鐵砲」でさつぱり當らない。そこでイギリスが考へたのは即ち照空燈であります。夜間空を照す明りである。それに依つて侵入して來るドイツの飛行機を照して高射砲が射撃します。さうなれば敵もさる者、ドイツは夜間飛んで來ても晴れた晩は來ない。曇つた晩を選んで飛んで來る。雲の上を飛行機が飛んで居りますから、照空燈で照しても雲に遮ぎられて飛行機の所在が解らないさつて飛行機の形は今のやうに雲に遮られましたけれども、隠すことの出來なかつたのはプロペラの響であります。そこで更にイギリスの方が考へて何とかしてプロペラの響に依て飛行機のありかを知り以て射撃をしたいと云ふので研究され、進歩しましたのが即ち聽音機であります。この聽音機に依て音の音色、強弱を聽分けて飛行機の種類が何であるか、高さがどの位で

あるかと云ふことを測つたのであります。ところが當時それを使つた所の兵は、飛行機が飛んで來て爆彈を落してあちこちの家が崩れたりするので耳では飛行機の音を聽いて居りますが、眼では矢張それに氣が取られて心があつちに行つたり、こつちへ行つたりするのでどうも成績が宜しくない。そこでイギリスが考へたのはこの聽音機を掌る者に盲人を採用したのであります。これは非常な好成绩を収めたと云ふことが文献に現はれて居ります。

だんく整つたロンドンの防空施設

以上の如くロンドンの地方防空設備は整ひましたが併し更に飛行機に對しては單に下から高射砲の準備をして居つただけではいけない。敵が飛行機でやつて來れば此方でも飛行機で對抗せなければならぬと云ふことになりました。そして爆彈を持つて來るやうな飛行機は重い物を積み形も大きく、隨つて又速力も十分出ないし、又宙返りをすると云ふやうな高等飛行術が出來ない。そこで防禦する飛行機は形は小さくても宜しい航續時間も短くて宜しい然し速力就中上

昇力の早い飛行機を使つて侵入して来る飛行機に對して下から腹の方を撃ち、飛び上つて上から背中を撃つと云ふやうな動作をやらせたのであります。更に又成べく早く敵の飛行機が侵入して来たことをロンドンに知らせ、さうしてロンドンに於ては敵の飛行機の来る前に十分準備を完了しなければならぬと云ふわけから、海岸には一面に防空監視哨と云ふものを置いてドイツの飛行機が来たことを直ぐにロンドンに知らせる處置を取つたのであります。更に又飛行機が侵入した後に於て何處がロンドンであるか、又ロンドンの内部が何處が何であるかと云ふことを分らなくする爲に燈火管制を行ひました。即ち火を消して眞暗にし上から分らないやうな處置を取つたのであります。

ロンドンとパリで六千の死傷

斯の如く各種の方法を執つて防空に任じたのであります。それでもロンドンが歐洲大戰中ドイツの飛行機、飛行船の襲撃を受けましたことは前後合せて百四回であります。これが爲に

死んだ者が千四百餘名、怪我した者が三千四百餘名、合計しまして約五千人の者が死傷したのであります。これだけの死傷は考へやうに依つては少いのであります。現在に於きましても、この帝都五百萬の人口から申しますれば五千人の死傷は千分の一であります。併しながら茲に考へなければならぬのはロンドンの市街は其の大部分が火災等に逢つても焼けない不燃性のものから出来て居たことと、當時の飛行機及爆弾を現在のものに較べますれば甚だ貧弱なものであつた事であります。故に之を東京の木造家屋の多い所で然も現在の飛行機、爆弾の進歩した状況に於て考へますならば、とてもロンドンが受けた損害の比率を以て率することは出来ないのであります。

更に歐洲大戰中ドイツが最も憎み、ドイツが最も狙つて居つたのはフランスであります。フランスはどうでありましたらうか、そのフランスの首府パリはどうであつたかと申しますと、パリがドイツの飛行機、飛行船の襲撃を受けましたのは、ロンドンの受けた回数のお三分の一にも足りない三十二回であります。随つて死んだ者が約二百七十名、怪我した者も約六百

名、合計約千名内外の死傷者でありました。この原因は果して何處にあつたでありませうか。その第一の原因は即ちイギリスが島國でありまして、ドイツの飛行機、飛行船が之に侵入する爲途中何等の妨害をも受けなかつたことであります。之に反してパリイは襲撃する飛行機、飛行船がその途中に於てフランスの戦線の上を通過しなければならぬ。更にフランスの國土を通過しなければなりません。従つてその間に於て或は高射砲に撃たれ、或は飛行機の妨害を受け更に防空監視の目に入り、やつとパリイに到着した時には總ての諸準備が整つて居つた事が其の大なる原因であつたのであります。更に又第二の原因としてロンドンには防空に對する平時からの整備を怠つてゐたのに反し、パリイに於ては平時からも又開戦當初からも着々と整備を進めてゐた事であります。そしてロンドンの如きも其の損害の大部は實に開戦當初の無防備時代に於て受けたものなのであります。

赤 裸 の 東 京

さて以上の事實を考へる時に於て現在の日本、現在の東京がどうなつて居るでありませう。果して現在の東京に於て、これ等必要な防空の施設があるでありませうか。皆様が東京市内外で何處に高射砲の準備してあるのを見られましたか。或は東京を離れた海岸に於て何處に防空監視哨と云ふやうな設備があるのを見られたでありませうか。皆様の目に觸れない通りに全く東京の附近には此等必要な防空施設の平時的設備がしてないのであります。空に對する東京は全く赤裸であります。何故然らば斯の如き必要な防空施設が今迄手も着けられずに居つたのでありませう。何故この防空方面の責任者である軍部に於て空の施設を今迄怠つて居つたのでありませう。吾々は決して怠つて居つた積りではありませぬ。屢々これが必要を説き、そして之に必要な経費を豫算に計上して議會に出したのであります。悲しい哉、當時の議會即ち國民の意思の代表であると謂はれて居る所の議會は其當時軍縮と云ふ譯の分らないものに怯えましたか、兵數は減少し軍事施設として見られる諸新設備は悉く之を認めず或は延期し去られたのであります。今になつて過去を追憶し之に對して恨言を述べましてもそれは「死兒の齡

を數ふる」に過ぎません。何も吾々は今更過去の事を怨みますまい。今からでも宜しい。遅くはない。何とかして之に必要な防空施設をしなければならぬと云ふことを痛感して居る次第であります。(拍手)。

國家も市民も餘りにも無關心

昨年の東京府會に於きまして初めて二名の府會議員の人に依つて「東京は防空に就てどう云ふことを考へて居るか」と云ふ防空に關する質問が出ました。本年の帝國議會に於きまして、貴族院並に衆議院に於て、分科會の席上防空に關して若干の質問が出たのであります。併しなから未だ會て貴衆兩院議員を通じまして本會議の議政壇上堂々と「帝都の防空は安全なりや」と云ふ質問を總理大臣なり、或は陸軍大臣に對して發した人は一名もないのであります。之を以て觀ても如何に國民がこの防空と云ふものに對して無關心であるかと云ふことを残念乍ら謂はざるを得ないのであります。私は以上の事を考ふと共に思出すことがあります。彼の徳川幕

府の末期頃、林子平と云ふ人が現はれて沿岸防備、海岸防備の必要を説いた事であります。當時の人々はあの五千海里の太平洋を越えてどうして汽船が日本にやつて来るものと馬鹿にしてその話を聞かなかつたのみならず、當時の政府——徳川幕府は林子平は人心を惑はすも甚しいものであるとして之を引捕へて獄舎に投じ、剩へ彼が著した「海國兵談」は之を集めて焼いて了つたのであります。現在とその當時と果してどれだけの差異があるではありません。違ふ所のものは五千哩の海か五千哩の空かと云ふこれだけの違ひであります。

今夏の防空演習

勿論現在に於てアメリカの本土から直ちに日本の上空に到着し得る飛行機は出來て居りませぬ。併しながら近い將來に於て斯の如き飛行機が出來ないと云ふことを誰が斷言し得るでありませうか。唯、昭和の御代の有難いことには斯うやつて私が各處に行つて説明をすれば聞いて下さる方が能く了解して下され、又官憲も怪しからぬ奴であると言つて引捕へて獄舎に投ずる

人もありませぬ。然し聞いて下さる皆様が單に必要であると云ふことに同意して下さるだけでは物足りません。今もう防空の必要を宣傳してゐる時代ではありません。其の實行に移るべき時であります。そして其の實行の一部を如實に現すものが即ち本年夏行はれる防空演習なのであります。

さて今假にこれ等の防空諸施設が相當に出来たとした場合に於て、之をどう云ふ風に配置しどう云ふ風にやつて以て帝都の防空を果すべきかと云ふことを次にお話したいと思います。

此の大きな圖に現はしたものが即ちそれです。こゝが東京市であります。

防 空 監 視 哨

そして先づ第一に考へることは、敵の飛行機が来たことを早く發見する防空監視哨を何處に出すべきかと云ふことであります。この防空監視哨は成べく遠くにしまして、速に敵飛行機の襲來を發見し成るべく速に之を東京に報告する必要があるとあります。これは又後から説明致しま

すが、色々の事から研究致しまして百五十軒（約四十里）の先に其の第一線を出すことになつてゐます。さうしますと東京では海の方は皆様ならば何處に之を出すと云ふ氣持になりますか恐らく誰れでも銚子の犬吠岬に出されるでありませう。然らば銚子の犬吠岬は東京の中心からどの位の距離にあるかと申しますと、これが恰度百軒二十五里であります。二十五里では四十里に足りないこと十五里であります。然らば房總半島の南端はどうであらうか、これは銚子の端より尙ほ近いのであります。更に伊豆半島の南端下田附近はどうであるか。あれは恰度東京の中心から約三十里で、これ又十里足りないのであります。

斯く考へ来りますれば、もう皆様方には何か頭の中にお感じになる所がありはしないかと思ふのであります。それは外でもありません。東京の空を守る、帝都を防空することに就て一つの大きな缺陷があるのであります。それは假に敵の飛行機が東京の北であるとか、西であるとか、斯う云ふ方面から来て呉れるならば防空監視哨は——所望の如く大體百五十軒の附近に出すことが出来ませんが、若もさうでなく相手の飛行機が海の方面から来ると假想しますならば、

防空監視哨を所望の所に出すことが出来ない。況んや九十九里濱附近の最も引込んだ處は東京を去る十五里でありまして飛行機では僅に廿分の行程であります。而して若し海上方面から進入して来る飛行機があるとすれば、一體其飛行機は果して何處の國のものでありませうか。それはこれ以上私が説明する必要はないと思ふのであります。

三十里の近くより東京の空襲が可能

本日説明の當初に於きまして私は飛行機の事を説明する際陸上機に例を採つて陸上の飛行場から出發して東京の空に來て爆撃する、而してその行動半徑は三百七十五里であると云ふことを申しました。併し乍ら陸上からでなく海上の何處からでも自由に飛んで來れる飛行機がありとすれば其の距離は七百五十里だの三百七十五里どころの騒ぎではない。銚子が僅に二十五里でありますから、三十里附近の所からいきなり東京の空に向つて飛行機を飛ばして來ることが出来るのであります。然らば果してそれが可能でありませうか、残念ながらこれは可能なので

あります。

百數十臺を積載する航空母艦

然らば何がそれをするか、外でもありません。航空母艦がそれです。アメリカが世界に向つて誇つてゐるレキシントンであるとか、サラトガであるとか云ふ航空母艦になりますと一隻にして飛行機百數十臺を積んで居ります。而もその中の半分は實に爆撃用の飛行機であります。これ等が巧みに日本海軍の目を暗まして太平洋岸に接近し其處から東京の空に向けて同時に飛行機を飛ばしましたならば、その時には帝都附近の状態は想像するだに身の毛の慄つ思ひがするのであります。

今假に銚子の端に防空監視哨が出來て居ると考へます。するとその上を飛行機が十臺ばかり東の方から西に向つて飛んで行きます、監視哨は直ちにこの事實を東京に報告するのであります。

敵機發見の報告が東京に届くまで

何に依つて報告するか、速かに報告する必要がありますが、その報告すべき所の準備は何も平素出来て居らない、僅に利用し得る所のもはこの附近にある地方の電話であります。私共はこれが爲に警察電話を借用したいと考へて居るのでありますが、之を以て傳へる、その報告は犬吠岬の交番から銚子の警察に入るのであります。銚子の警察で中繼をして東京に送るのでありますが、それが次は千葉の縣廳に來る。千葉の縣廳から中繼して初めて東京に到達する仕組みになつて居ります。即ち防空監視哨は之を所望の線より遙かに近い處にしか配置し得ず、更に又其れから之を通知する施設が十分に出来て居らない。即ち二重の不利を招いて居るのであります。

斯くして侵入し來る敵飛行機は銚子附近の監視哨から報告を受ける。續いてその後、右飛行機の行動は八日市、成東、千葉等から報告が來るのであります。それらの報告に基いて東京で

は東京市の周圍にある高射砲に依つて射撃の準備を命令し、更にその外周にある飛行機にも命令し飛行機はその命令に依つて飛び上つて侵入する敵の飛行機に攻撃を加へるのであります。そしてこれと同時に命令を下して、この附近一帯に燈火管制を実施させるのであります。故に各種の報告が集まり、その報告に基いて命令を下す所の機關は何等か平生から準備されて居る處が中央にあつて欲しい。然らばさう云ふやうな機關が東京の中にあるでありませうか。これは僅か乍らその機關が準備されて居るのであります。果してそれは何處でありませう。皆様方は恐らく御存知ないと思ふのであります。

東京警備司令部の任務

さう云ふことをやつて居りますが、即ち現在私の勤めて居ります東京警備司令部であります。さう申しても東京警備司令部と云ふ處が東京の何處にあるか御存知の方がこの中に何人お出で、ありませう。即ち東京の方々の防空に對する智識はまだ、其程度なのであります。

さう云ふ譯でありますから、私共としては日夜苦心して居ります。多数の高射砲や飛行機があれば宜しいが、それは甚だ十分でない。又地形が宜いならば幾らか安心するが、地形が悪いさうして一體東京市内の家屋はどうであらうか、こう云ふことを考へて來ると、それならばどうして帝都を防空したら宜しいのであるか。一朝敵の飛行機が來た時にどうしたならば東京市民に對してひどい苦しみをさせないで済むであらうか。責任の地位にある者、斯う云ふ状態を餘計知つて居る者にとつては非常な苦痛であります。

防護團は何故生れたか

そこで何とかしなければならぬ。黙つて居つたのでは何時迄でも駄目であると云ふので、こゝに氣が付いて出來上つたものが即ち防護團であります。防護團は斯の如き非常、變災時に於て市民が如何にしたら宜しいか、又これが爲めには平生から如何に訓練し、如何に施設し準備すべきかと云ふことを研究し且實施する團體であります。而して斯の如き防護團が必要であ

ると云ふことは何も最近になつて叫ばれた問題ではありませぬ。これも彼の大震災當時に於きまして誰れしも等しくあゝ云ふ時に於ける訓練、準備の必要であることを痛感したのであります。大正十三年に早くも市當局方面に於きまして斯うした非常變災時に處する準備が必要であると云ふので研究の歩を進められたのでありますが、當時に於きましては、市民は固より當局に於きましても復興が第一でありまして即ち「復興に勝る供養なし」の標語に下。その出來上つたものが再び壊される様な時にはどうして守ろうかと云ふ研究が出來なかつたのは又無理からぬことでありました。昭和五年の春、この帝都では復興祭が華々しく行はれまして、大體に於て復興は一段落を告げたのであります。この機に於きまして私共は更に東京府、東京市及警視廳を説きまして、これ等に對する平生からの準備研究をしようではないか。宜からうと言ふことでそれに更に東京憲兵隊が加はり、これ等のものが集つて研究し、約束を結んだものが東京非常變災要務規約で實に昭和五年九月一日に出來上つたのであります。それに依つて斯う云ふやうな際に手足となつて働く者が防護團であると示されて居り、爾後それに關する研究を

進め、御承知のやうに昨年九月一日代々木に於きまして東京聯合防護團の發團式が擧げられたのであります。其後更に内部の編成を急がれて以て今日に至つて居る状態であります。

防護團とは如何なるものか

防護團のことに就きましては大體皆様方も御承知であらうと思ひますが、要するに各區毎に一つに纏まり、區を以て區防護團となし、東京市に於てはそれが全部集つて東京市聯合防護團となり、市長が聯合防護團長となつて居ります、區に於きましては區長の職にある人を以て區防護團長とし、更に區の中を適當の範圍の地域に分けまして、その地域毎に防護分團と云ふものが出來て居ります。區が一つの纏まりですが、更に斯う云ふ非常時の際に於きまして活動する所の一つの纏つた單位が即ち此の防護分團であります。さうして聯合防護團には防護委員會と云ふものがあつて諮問機關となり、區に於ては評議委員會と云ふものがあつて區長に對する諮問機關となつて居ります。さうして今申した軍部、府、市、警視廳が纏まりまして相互の連

繫ある行動を執らうとするのが主なる目的であります。而して防護分團は更に九つの班に分れて居ります其處で以下この九つの班につき各班の任務並行動の概要を説明したいと思ひます。

第一、警備班

第一の警備班であります、これは平たく申しますならば震災當時にありました自警團と云つたやうなものであります。ところがこの自警團は震災が起つた後に於て、必要に迫られ或は不安の爲め個々勝手に出來上つたものを或る程度に組合したものであります。随つて何等の統制もなく、訓練もなく、所に依ては却てそれが爲に弊害のあつた處さへ見受けたのであります。そこでそれではいけない平生からさう云ふやうな準備訓練をして行かうと云ふのがこの警備班でありまして、先づ第一に治安維持に任ずる。斯う云ふやうな非常の際に於て最も人心を惑はすものは何であるかと申しますならば流言蜚語であります。震災當時に於ても鮮人の騒ぎと云ふやうな根も葉もないことが流布されまして、所謂江戸つ子の値打をえらく下げたのでありま

すが、その原因は流言蜚語であります。それ等を取締り且無根であることを傳へて人心に安定を興へる。これが治安維持の第一歩であります。

火災盗難の取締

その次には火災盗難の豫防であります。こう云ふ場合に於ては悲しい哉、我同胞の中にも悪い者がありました、泥棒したり或は思想上の重大犯をする者がありますから、それを取締り、引捕へたりするのが又此の班の任務であります。随てこの班にある人はどうしても出先の軍隊であるとか、憲兵であるとか、殊に警察官憲と密接な連繫をとつて其の手の足りない所を補ふ様にするのであります。即ち防護團は獨立して何でも彼でも勝手にやつて行かうと云ふのではありません。元々出来たなら如此際でも防護團は出動することなく、平生からある、警察、消防等の方々の力に依て治まれば之に越したことはないのであります。唯、中々それだけでは人手が足りないから、そこで之を援助しようと云ふのが防護團の起りであります。殊に警護班は其任務上密接に警察官憲と連絡し、その指示を受けることが必要であります。又之に當る所の

方々はどうしても相當に胸ツ節のある者でなければならぬと思ひます。その外此の班の任務としては分團内の重要な物件、例へば橋とか官公衙とか云ふものゝ直接警護があります。

第一、警報班

次は警報班であります。これは燈火管制の實施に方りその警報を傳へる。或は瓦斯彈が落ちたと云ふやうなこと即ち防護警報を傳へてやるのが任務であります。

燈火管制とは如何なることか

此處で一吋燈火管制に就て説明を加へて置きますが一般には燈火管制が如何なるものであるかを間違へて考へられて居る感があるのであります。即ち燈火管制とは單に火を消して眞暗にさへすれば宜しいのであると云ふ觀念が多い様であります。眞暗にするだけならば、これは極めて容易なことでありまして電燈會社に於て、その大元でスイッチを切つて了へば宜しい。これで眞暗になります。併しながらこれは燈火管制ではありません。これは消燈であり、斷

線であります。斯う云ふことは何も平生から訓練し、準備しなくても時々あることであります。吾々の言ふ燈火管制と云ふものはそんなものではありませぬ。即ち必要な場所には電氣を光々と點けて置きたい。仕事も平生通りやつて行きたい。電氣のモーターも平生通り廻して、而も上空に對して光が現はれないやうにしたいと云ふのが燈火管制であります。隨て劇場であるとか、活動寫眞館では平生通り興行をやつて行くことが出来ます。電氣を使つて居る工場に於ては平生通り仕事をする事が出来ます。際どいことを申しますればお醫者さんで怪我した者や又手術をして居る者、例へば盲腸でも取出して手術をして居る場合に電氣を消されて大騒ぎをしたと云ふことが演習に於てもあつたのであります。眞の燈火管制では先づさう云ふこととはないのであります。

即ち燈火管制をしると云ふ合圖（これを空襲警報と云ひます）があつたならば各人に於て自己の電燈を消すのであります。隨てこの觀念が區民の方々全部に徹底しない限りはその實施がうまく出来ないであります。

然らば何に依つて一般に知らせるかと申しますれば、先づ其第一は電燈を點滅します。即ち平時門正しき間隔を以て電氣を消したり點けたりパツ／＼とします。これは最も迅速確實な方法でありましてこれなら大抵今が燈火管制だと云ふことに氣が附きます。第二にはサイレンに依つて一般に傳へるのであります。東京市で正午の時報に使用するあのサイレンによつて一定の符號を定めて吹き傳へるのであります。先づこの二つが最も一般的であります。その次はラヂオに依て知らせるのであります。東京市に於きましてはこの三つを併用すれば先づ十分に徹底出来ると思つてゐます。即ちこの合圖に依つて火を消すのであります、然し中にはうつかりしてゐたり又はグツ／＼してゐたりして消さない者があるかも知れませぬ。そこで更に警報班の人々がそれを觸れて注意を喚起するのであります。

防 護 警 報

又その次には今申した燈火管制でなく毒瓦斯が來た時に於て之を知らせる（之を防護警報と言つて居ります）然し瓦斯が來たぞと云ふことは大騒ぎして廣い地域に傳へる必要はないので

あります。前述の空襲警報の方は敵の飛行機が水戸附近に來た時に於て既に東京は火を消さなければならぬので速に廣地域に傳へる必要があります。それは普通飛行機が侵入して來る場合には概して三千米から四千米位の高さで飛んで來るのであります。此の高度からは概ね百杵、(二十五里)前方が見えます。随つて東京市を隠さんが爲に東京市を中心として百杵の地域に直つて燈火管制をしなければ役立たないのであります。さうなりますれば、飛行機が百杵の地點迄來た場合に於て既に其内部は全部燈火管制されて居らなければなりません。而して防空監視哨が飛行機を發見して東京に報告し、その報告に基いて燈火管制の命令が出る。そして完全にこの地域が燈火管制される迄には約十分位掛ります。この十分間に飛行機は三十杵飛ぶのであります。故に此の合計百三十杵の前方に防空監視哨の第一線が出て居れば先づぎり／＼結着の所宜いこととなりますが、それでは不安心でありますので、もう少し前方に出して大體百五十杵と云ふことになつて居ります。

こゝで先程の防護警報の事に歸りますが、飛行機が來た時には今申上げた通り速に廣地域に知らせて燈火管制をやらせますが、瓦斯彈が落ちた場合には、例へば東京驛に毒瓦斯が落ちたからと言つて芝區民に迄騒いで傳へる必要はありません、必要が無いばかりでは無く傳へてはいけないのです。即ちさう云ふことをすれば流言蜚語が加つて徒らに警護班の御厄介にならないければならぬことになるからであります。唯警報班としては自己防護分團の地域内に落ちた場合にその附近の人に知らせれば宜しい。従つて之を知らせるにも電燈の點滅をやつたり、サイレンを鳴らしたり、或はラヂオで報道したりする様なことはしないで成べく簡單にその附近の人だけに知らせる方法でやつて欲しい。即ち小型のサイレンを鳴らすとか空罐を敲くとか或は小笛、拍子木等を用ふれば宜しい。隨つてこの警報班には何もそんなに腕節の強いと云ふ者は必要ありません。若い子供でも勤まります。或は場合に依つては老人でも勤まる。唯燈火管制諸警報等の規定をよく承知してゐることが必要であります。

第三、防火班

その次は防火班であります。先程申しましたやうに、東京の現況を考へますと防火と云ふことが重大事であります。然るに消防の力が足りない。況んや飛行機が来て水道を壊したならば消火栓を使ふことも出来ない。どうしても井水や池の水を使はなければならぬ。さうなると何と云つても人手が餘計要るのであります。故にこの防護分團の中に於て最も人數の餘計要るのは防火班であります。多分區などにお示したのは總人員の四十パーセント、と云ふことになつてをります。然もこの中には平生から東京市内で言へば鳶職と言ひませうか、昔あつた例の「いろは」四十八組の方々が居られますが、云ふ方々の全部が防火班に入つて戴きたい。それでも人數は不足すると思ひますから外に相當力の強い人に入つて戴きたいのであります。そしてポンプを設備すると云ふ譯にも行きますまいが、少くも消火器、斧、鋸、馬穴、土、砂等準備の必要があります。

第四、交通整理班

次は交通整理班であります。これは平生實施されて居る交通整理とは少々趣を異にして居ります。平生の交通整理は要するに人の混む所を左右前後にぶつからないやうに、怪我しないやうに捌くのが目的でありますが、こゝに言ふ交通整理班の整理はさう云ふことも勿論やりますが、例へば飛行機が来て爆弾を落とし、毒瓦斯を落した場合に於て、群衆中無中になつて避難するものがあります、然るにそつちに行けば毒瓦斯に會ひ、こちらに行けば火災があると云ふ場合に於て其の方面に人をやつてはいけない。目的の避難先とは異なる反對の方にやらなければならぬ。或は之をこの儘に動かさぬ方が良くと云ふことを考へて安全な方に導いてやる。さう言ふ誘導指導をすることまでも交通整理班の仕事に含まれて居るのであります。随つてこの班は空襲を受けた場合に能く全般の現況を知つて居る必要があります。而して平生やつてゐる交通規則、交通整理の要領を準用すべきことは勿論であります。

第五、避難所管理班

次は避難所管理班であります。これは豫め避難する所を準備し且發災に方り避難者の收容、整理に任ずるのであります。この避難には大體三つの場合が想像されるのであります。

その第一は破裂する爆彈及其の破片に對する避難、その次は燒夷火災に對する避難でありまして、もう一つは毒瓦斯に對する避難であります。

爆彈に對する避難

爆彈に對してはこの區役所位の建物の破壊ならば始めに申上た様な大きな爆彈でなくもつと小さい五百疋或はその半分位で結構だと思ひますが、さう云ふやうなものが不幸にして此處に命中したならばその時は此處に居る吾々は全部他界に行つてしまふものと考へて頂かなければならぬと思ひます。之に對して巧い方法はないかと申されてもそれはありませぬ。その人々の運命と諦めて頂く外ないと思ふのであります（笑聲）それは平生でも雷に撃たれて死ぬ人があ

るので、雷の大きなのが落ちて來たと斯う考へて頂くより外ないのであります。併し地下室に避難すれば大體は大丈夫であります。又道路の上に落ちたりする彈丸の破片に對しては此れ亦避難の必要があります。これは味方の高射砲に對しても同様でありまして、現在高射砲の彈は上に上つて破裂すれば細かになつて散るのであります。中には機械のことでありますから破裂しないで落ちて來るものがあるかも知れないし、破裂しても大きな破片等であればそれに當れば死にます、ですから斯う云ふやうな場合に於ては第一に街路等を歩いて居ることはいいないのであります。狼狽しないで何處かに入つて居るが宜しい。例へば木造家屋でも爆彈の全部の大きいのに對しては仕方がないが、破片に對しては避けることが出来るのであります。

火災に對する避難

その次は火災に對する避難であります。火災に關しましては、先づ廣場に避難する必要がある。幸ひにこの附近であれば芝公園と云ふ大きな避難所を有つて居るのでありますからさう云ふ處を選んでいざと云ふ時に一時的避難をして、消火すれば自分の所に歸つたら宜しい。其の

消火には防火班が大いに努むべきであります。

毒ガスに對する避難

その次は毒瓦斯であります。これはやられたらひどい目に會ひますが、これに對する準備をさへして置けばそんなに恐れる必要がないのであります。

毒瓦斯は一般に空氣より重いので、放つて置けば地面の上を這つて居ります。風が吹いて來ると、風のまに／＼流れるのであります。故に毒瓦斯が來た時、風上に行けば安全であります。又空氣より重いから高い處に登れば宜い。先づ高層建築であれば、四階以上に登れば大體安全であります。隨つて何も建物でなくても高い處に登れば宜い。愛宕山あたりは差當り毒瓦斯に對して安全であります。ところがあゝ云ふ處に多くの人が集ると、恰も甘いものに蟻が集つて來たやうな状態を呈し、今度は飛行機がそれを狙つて爆彈を落しませう（笑聲）

さう云ふ譯でありますから、必ずしも愛宕山の様な處が宜いともいわれません。さうすればどうするが宜しいか。毒瓦斯は今のやうに空氣に混入して行きますから、空氣が通はぬ様部屋

を密閉して仕舞へば宜しい。即ち隙間を全部目張りをしてさふ。そうして理想を言へば、皆様方の各家庭に於てさう云ふ防毒室を造つて戴きたい。ところが日本の家屋はさう云ふ爲には甚だ具合の悪いやうに出來て居るのであります。殊に貸家なんかと云ふものは（笑聲）私も貸家に住んで居りますが、密閉などと云ふことは殆んど出來ないのであります（笑聲）殊に又毒瓦斯は縁の下からも入り込んで來ます。そこで避難所管理班は自分の分團地域に於ていざと云ふ時に密閉すれば空氣が入らない様な大きな場所は何處であらうかをして其處には何人程收容出來るかと云ふことを平生から研究して置いて戴きたい。所が又今申した様な密閉した室の中には長くは居られません。通常人數が疊一疊に對して一人の割合で居りまして、三時間以上經ちますれば人間が出す毒瓦斯——炭酸瓦斯でやられるのであります。一箇處に多くの人が立籠つて居れば、敵の毒瓦斯より先に自分の出す炭酸瓦斯でやられる（笑聲）それでさう云ふ處を澤山造つて置かなければなりません尙出來たならこの室には新鮮な空氣が這入つて來る様な設備をし通風換氣の方法を講じます。さて今申した様な事を平生から準備し、いざと云ふ場合に

どの人が入るかとか云ふことを決めて置くのが此班であります。

地下室は一般に爆弾に對しては宜しいのでありますが、毒瓦斯に對しては、これは空氣より重いから這入り込んで來ます。故に地下室は爆弾に對しては結構であります。毒瓦斯に對しては其入口に特別の設備をしない限り危いのであります。どう云ふ設備をすれば宜しいかと云ひますとその入口に護謨製或は護謨引の布を垂らす、そして此の中に入る人はこれを捲つて這入る、すると一寸は隙間が出来るので、一つではいけない。その次に若干の間隔を置いて亦幕を垂す。此様に二重三重に幕を張つて、その下を潜り潜つて入るやうな設備をしないと毒瓦斯が入り込んで了ふのであります。

さて室の中に入つた人は外に毒瓦斯がなくなれば出て宜しいが、毒瓦斯がある以上は出られない。長い間入つて居りますと、腹は減つて來る。咽喉も乾くのでありますから、それらのことも世話しなければならぬ。これも亦避難所管理班の仕事であります。それで中々忙しいのであります。

第六、防毒班

以上の様な毒瓦斯に對しては一體どうすれば良いかと言ひますと、耐久性の毒瓦斯は放つて置くと、一週間でも十日でも効力があります。さうでないのでも數時間の効力があります。故に一方に於て老人婦女子はさう云ふやうな安全な處に避難すると共に一方に於ては速かに毒を消毒して了はなければなりません。それには誰が當るか。それが防毒班の仕事であります。毒瓦斯の所在は毒が空から落ちて來て破裂した時にはあそこだと云ふことが分りますが毒瓦斯には色がございませぬ。然らば其後は何に依つて分るかと云ふと、現在の毒瓦斯は臭ひがしますから臭ひに依つて嗅分けるより方法がない。故に防毒班の人は毒瓦斯のある中で臭ひを嗅んで毒のある處を探し更に其毒の種類をも嗅ぎ出さなければなりませんさうしてそこに消毒材料を撒きます何を撒くか。持久瓦斯に對しては漂白粉が宜しい。あれを撒くと毒を吸収し中和して了ふ。さうでなく一時性の瓦斯に對しましては苛性曹達の溶けた液を噴霧器で撒くのでありま

す。併ながら何と言つても防毒に任ずる人は毒のある中に入らなければいけない。そして毒を嗅がなければならぬので、防毒班に當る人は毒瓦斯を少々嗅いでも何でも無いやうな人に成べくなつて戴かなければならぬ（笑聲）。併しさう云ふ便利な人はないかも知れませんが、兎に角丈夫な人であつて欲しいと共に、今申したやうに毒を探すのには鼻でやるので鼻の詰つたやうな、鼻の悪い人は御免を蒙りたい（笑聲）。

然らばその毒をどうして嗅ぐか、深呼吸でもやるやうにスウツと深く吸つてはいけない。強く浅く吸はなければなりません。即ち咽喉から肺の方に行かない様に、鼻で臭を嗅ぐだけ必要のやうに吸ふ。それでさう云ふ訓練を時々やつて戴かなければならぬ。それならば何も人間が嗅がなくても犬や猫に嗅がしたら宜からうと言はれるかも知れませぬが、犬や猫に嗅がした所が彼等には毒瓦斯の所在は或はわかつてても瓦斯の種類迄嗅ぎわかる様な巧い工合にいかないのがあります。矢張り人間の鼻が今迄の所最も宜いのであります。若しも皆様方の間に於きまして、もつと良い方法を研究して下さる方がありますれば、非常に幸福であると考へて居ります

勿論現在に於きましても検知器といふものが出来てゐますが、まだ、不充分であります。是が爲め防毒班の人はどうしても瓦斯のある地域中に入るから、素面、素小手ではいけない。豫防法をしなければならぬ。そこで必要なのは防毒マスクであります。

第七、工作班

その次は工作班でありますが、工作班はその任務を分けまして、大體二つに考へることが出来るのであります。一は空襲を受ける前に於ける仕事である。一は空襲を受けた後に於ける仕事であります。

敵の目標物を隠蔽する

要するに空中から受ける災害を減少せんが爲の任務であります。敵の飛行機が磁石等により見當を付けて來ればその飛行機の走つて居る方向時速飛んだ時間等より考へれば大體東京の上に来たと云ふことが分ります。東京に來て何等かの目標を選んで爆弾を落してやらうと云ふ

時に燈火管制をやつて居れば個々の目標物を確認することは出来ないが、それにしても川であるとか云ふやうなものは光つて居るから明瞭であります。大きな建築物等も比較的明瞭であります。故にそれ等を隠さない限り相當の打撃を受けますから、さう云ふやうな目立つ物を目立たないやうにして終ふのが工作班の第一の任務であります。吾々が帝都に於て考へなければならぬのは長い話ではありますが、宮城の環りのお濠の如きは第一に考へる必要があるのではなからうかと思つて居ります。或は隅田川の如きも其れであります。是は倫敦等の例を見てもさうであります。御承知のやうに倫敦は海岸からテームス河を遡つて行つた所にあります。そこで獨逸の飛行機はテームス河を目當に上つて参つたのであります。そこで東京には隅田川があります。所が是が中々難しいのでありまして、お濠なら其の上に材木等を浮べて泥でも掛けるとか、藁でも浮すやうにすれば、或る程度迄その光を隠すことが出来ます。又水道の貯水池と云ふやうなものは上空から見れば明瞭であります。あゝ云ふものは前申した様な方法或は覆をすることにより或る程度迄隠すことが出来るのであります。隅田川となりますと中々材木を

浮して簡単に隠すことは出来ません。然らばこの芝區附近に於てさう云ふ明瞭なものがあるやうか、このすぐ近くにあるプールも中々明瞭であります。増上寺も上から見れば、随分明瞭であります。故に防空と云ふ立場から言へば、増上寺を取除けて終つたが一番宜しいのであります。(笑聲)然しさう云ふ譯にも行かないのでありませうから、何とかそこを分らないやうにしなければならぬ。これが爲には或は澤山煙を出して隠すとか近所のものと同じ様に見せかけるとか、かう云ふことをするのが即ち工作班であります。

襲來をうけての應急修理

次には飛行機が飛んで来て爆彈を落した、すると東京の水道や瓦斯などは一寸道路を掘れば出る程浅い所に埋めてあるから直ぐ破裂する、さうすれば水が吹出す、瓦斯が吹出す、瓦斯會社に電話を掛けても是は芝區ばかりでなく方々にさう云ふことが起るので、芝區ばかりに工夫が來ることが出来ない。斯う云ふことになりまから、吹出して居る所に應急の修理をする、或は橋が落ちて交通上支障があれば、何等かの應急施設に依つて車は通れないにしても人間だ

けは通れるやうにすると云ふのが工作班であります。随つて工作班には何等かさう云ふやうな技術的の覚えが腕にある人に入つて戴きたいのであります。是亦單に腕節が強いと云ふだけでは役に立たないのであります。

第八、救護班

その次には、救護班であります。この救護班は是亦その仕事を三つに分けて考へることが出來ます。一は爆彈が落ちた現場に於て怪我をした者、毒にやられた者を取敢へず治療する者、第二はさうした者を病院であるとか、救護所であるとか、さう云ふ所に運搬する者、第三は運び込まれた者に對して治療し手當をし看護する者であります。

怪我人や毒に倒れた者の應急治療

その中で怪我した者、火事にやられた者は、普通のお医者さんならどなたでも見當が付くのであります。毒瓦斯患者だけは一寸困るのであります。恐らく東京市中で開業して居るお

医者達が毒瓦斯の患者を平生診断なさつたことはなからうと思ふのであります。さうかと云つて平生から毒をぶち撒いて患者を作つて研究することも出來ない。然し此の診察の方は大した事が無い所で毒瓦斯に依つて人間が一番やられるのは、目、鼻、咽喉、肺等であります。そして日頃露出し鍛錬して居る皮膚は直接猛毒に會はぬ限り無暗にやられるものではありません。そしてこの患者に對する療法としましては、安靜にすることが一番大事であります。

患者の運搬

そこで毒瓦斯患者が出來た場合これを選んで行く人が擔架に乗せて早く病院に擔込むと云ふわけで急いで揺つて行くと云ふことは宜しくない。極く靜かにして運んで行つて貰ひたいのであります。故に患者を收容する救護所は一つではいけない。小さくて宜しいから、澤山設けて置きまして、毒瓦斯にやられる人を直ぐ近くへ持つて行くやうにしなければなりません。

治療手當と看護

さうしてお医者が見れば、是は目、是は咽喉、是は鼻を、是は肺をやられて居ると云ふこと

は直ぐ分ります。之に依つて重傷者は餘り動さないやうにし、軽い者は手當をして、更に別の収容力ある所に轉送すると、斯う云ふことになるのであります。さうして此の發災の現場並に救護所には醫者及藥劑關係の方が必要でありますと同時に之を看護し世話する爲どうしても男ばかりではいけない。女の方も是非必要であります。こゝに於て防護團には必ず婦人の方に入つて戴きたいのであります。その意味に於きまして、本日のこの場所に餘り餘計ではありませぬが、婦人の方が見えて居られますことは私として誠に愉快に感ずるのであります。

第九、配給班

次には配給班であります。此も時々簡単に炊出しをするのであるとか、握飯を配るのであると云ふ風に考へる方があります。勿論此の班の仕事の中には握飯を配ることもありますが、それは配給の中の一部であります。配給班とは決してさう云ふものではありません。即ち防毒班に對して必要な防毒マスク並に消毒材料を渡し、救護班に對しては衛生材料を纏めて渡す

又工作班に對しては必要な作業材料を蒐集して交付する。さう云ふ風に總ての必要な材料を集めてそれを配給するのが、配給班の任務であります。それですから此の班の中には婦人の方も必要なのであります。

あらゆる方面の人を網羅する防護團

斯う云ふ譯でありまして、要するに防護團は男の方も、女の方も、年寄りも、若い者も、總て各方面の者が集り、能力あるものは能力を發揮し、技術ある者は技術を以てし腕力の強い者腕力でやると云ふやうに各種の仕事、各方面の心得ある人が集まつて初めて防護團は出来るのであります。之を今迄の既成團體である在郷軍人の方々であるとか、青年團の方々であるとか、さう云ふ一部の方々に任して置いて、外の者がボカンとして居つて宜いと云ふ性質のものではないのであります。それが又實に防護團の非常に有意義のことでありまして、即ち自分の住んで居る所、自分の住んで居る町、自分の住んで居る區に災害が起つた場合に於て、其災害

を減少し、その災害をなくする爲に土地の人が全部相寄り一體となつてやるのであると云ふ精神を如實に發揮するものが即ち此の防護團であります。

融和協同が防護團本來の精神

斯う云ふ風に考へますれば防護團は、常に非常變災時に於て役立つのみならず、平常に於ても附近町民の融和協同と云ふ點に於て裨益することが決して少なくないと思つてあります。それこそ防護團の本當の精神なのであります。然るに往々にして未だに防護團を誤解されまして、或は一部の人は之を自己の爲めに利用せんとし或は其必要を認めずとか或は誰れが分團長なら乃公は其下に入るのはいやだとか、誤りも甚だしいものがあります。この意味に於て本日はこの芝区内に於ける各方面の首腦者の方々の御集りの席上に於て防護團の眞の精神をお話することが出来ましたのは私として非常に愉快に堪へないと共に、將來この芝區の防護團が発達して行く上に於て必ずや何か貢献し得ることが出来たであらうと思つて居るのであります。

ます。

何れの班の活動も協同である

さて防護團は以上申上げました様に平生に於きましては、九つの班に分れて居りますが、是は平生の研究、準備等の爲でありまして、實際の場合に於きましては、この班が個々獨立して活動する場合は少ないのであります。例へば防火班が大いに活動して居る附近には防毒班も行って其の附近の毒を消毒する。其處には又救護班が来て患者を收容する。そして又その附近に交通整理班が来て、交通整理をすると云ふやうな譯で、實際の場合に於ては、各班が集まり、さうして協同一致して大きな力を出すものであります。之を軍隊の方で言へば、平生は歩兵、騎兵、砲兵等があり、各々襟章の色に依つて區別して別れて訓練して居りますが、いざ戦闘と云ふ場合に於ては、それ等の全部が集つて協同し、一つ目的に對し各々其特有の力を發揮して圓滿なる協同の下に最も強い力を出して事に當るのであります。恰もそれと、同じことでありま

す。即ち平生の教育、訓練は部分毎とし、いざと云ふ時には集つて各々その特徴を發揮してこそ反つて十分の強い力が出るのであります。いざと云ふ時に個々別々では十分の力を發揮することは出来ません。

防毒面マスクの實物

以上を持ちまして大體防護團の内容に付ては話を終つた積りであります。そこで折角持つて來ましたから、先程申した防毒面マスクに付て一寸御話致したいと思ふのであります。

(以下實物のマスクに依る説明)

是は軍用のマスクであります、この罐の中に薬が入つて居り、空氣は罐の底から這入り、そしてこの罐を通過する間に毒が吸収されて清淨なものとなり、この管を傳つて鼻に行く装置になつて居ります。之を袋に入れます、袋の底にも、罐の底に相當する所に穴があります。さうして使ふ時に、之を被ふりまして顔面との間に隙間がないやうに紐を締めて合せます

是は軍用に使ふマスクですが、軍隊でありますと其處に毒があると云ふことが分つて居つてもその場所に居つて、一時間も二時間も仕事をしなければならぬ場合があります。例へば通信手が大事な通信をして居る。然るにそこに毒瓦斯が來たと云つて逃げて終つては通信が出来ない。そこでマスクを使用し、毒瓦斯の中で消毒もせず長い間仕事をしなければならぬ。そこでマスクも念入りに出來てゐます。然るに市民の方はさうでなく毒瓦斯が來れば避難すれば宜しく、又毒ガスの中に這入る人も消毒せんが爲めに這入るのであります。随つてそのマスクも軍用のやうなものでなくて、これよりも稍簡單なもので宜しいのであります。さう云ふ譯で一般市民に宜からうと思つて作つたものゝ一つがこゝにある所の稍々簡單なものであります。即ち罐が小さく出來て居ますが、今申した目的から言つて是で十分であります。平生は罐をはづして蓋をし、裏には紙を貼つて保存して置いて、いざと云ふ場合に取り付けるのであります。うっかりすると狼狽して蓋を取ることを忘れて嵌めやうとしても嵌らないのであります。中には又底の紙を剥がないでそのまゝつけて被つて息が出來ずやられる者もあります。(笑)

聲) 實際可笑しな話ではありますが、慌てるとさう云ふことがあるのであります。今日はこのマスクは保存の關係上府の紙は剝すに置いてあります。さて先程申したやうに防毒班が之を被つて仕事をする時には時々此の如くして指で側面を開けて毒の臭を嗅ぐのであります。

一般市民は如何にして毒瓦斯を防ぐか

尙ほ是は防毒班等が使ふものでありますが、一般市民の方々も場合に依ては、さう云ふ所を通らなければならぬと思ひます。これが爲に極めて簡單であります。近頃冬になると一般に用ふるマスクを少し改造したやうなもので、之に一寸した罐を取りつけた、さう云ふものを用ふれば結構であります。而し愈々何もない時に毒瓦斯が來た場合に於ては、已むを得ないからハンカチ、手拭等を濡らして鼻、口を蔽ひ息を止め目をつぶつてその場を速に避難します。是だけでもやらないよりは遙かに増しであります。さう云ふやうな心得はどうしても市民一般の方々に知つて置いて戴きたいと思ふのであります。最近露西亞は東洋に於ける或所で防空演習

をやつたのでありますが、それに依りますと市民の十分の一はマスクを持つて居ると云ふことでもあります。餘程露西亞方面に於ては是が行亘つて居る様であります。

今夏の防空演習の目的

さて以上で大體防空並に防護の説明を終りましたから、是からこの夏に實施されます防空演習に就て、これがどう云ふ風に行はれるものであるか、又以上申したやうなものをどの程度迄實施するかと云ふことに付て説明したいと思ひます。

それには此方の圖を見て頂きたいのであります。先づこの圖で遠い方には見え難いかも知れませぬが、黒く書いてあります所が今回の演習をする地域でありまして、外側の赤い線が防空監視哨の第一線を配置すべき百五十軒の線であります。内側の赤く丸く書いた線が即ち百軒の線でありまして學理上の燈火管制地域であります。今回演習を實施される地域は東京、神奈川、埼玉、茨城、千葉の一府四縣であります。この百軒の赤い丸を書いて見ますと、茨城縣

の北半分がこの地域外に出ますが、其外は丁度この中に収まるのであります。この演習に於きまして実施すべき主要な目的は何處にあるかと言ひますと、一は軍部に於ける防空諸部隊の訓練であり、一は地方官民に於ける防空思想の向上並施設の促進であります。

先程御話を致しましたが、軍部としても、東京の爲めの防空施設が洵に微々たるものであります。唯幸にして今度の議會で人稱して之を尠大豫算と云つて居りますが、この方面の施設に對しても若干費用が出來たので、それに依て幾分の施設を爲し早速之を應用してやりたいと考へて居ります。それで參加する陸軍部隊の主なるものは飛行機三中隊高射砲約三十門照空燈聽音機各々約二十であります。

よく東京市の各方面から俺の所へ高射砲を持つて來て呉れと云ふ御注文がありますが、是亦防空と云ふことを知らない方のおつしやる話でありまして高射砲は市内に置くものではなく市外に置くものなであります。さうして飛行機が市内に這入れない様に防ぐのが此の高射砲であります。ですから今回の演習でも芝區には高射砲は一門も参りませぬ。或は演習中高射砲の

音も聞えないかも知れませぬ。即ちそれが防空であります。音の聞える防空は本當の防空ではなく、景氣付けの防空であります。

軍部としての重要研究は以上の通りであります。地方官民の方々は防空に關する完全な智識を收得し、合せて之に對する施設訓練を行つて載きたいと云ふのがその目的であります。もう現在の時代に於ては防空が必要であると云ふやうな宣傳時代ではなくして、實行の時代であります。過去に於て行はれた昭和三年の大阪、昭和四年の名古屋、同六年の北九州等では其等が或る程度迄、まだ防空觀念の養成、宣傳の時代とも考へられたのであります。苟も帝都に於て然も以上幾多の經驗を得た今日、今更從來の宣傳であるとか、防空思想の養成であると云ふやうな幼稚な程度であつてはならないと思ふのであります。然らば軍部の訓練と地方官民の訓練とどつちが重いかと云ひますと、軍部の斯う云ふやうな訓練は場合に依ては、何も多數の府縣が一緒にならないでも、軍部だけでも高射砲、飛行機等を以てやること出來るのであります。然るに官民協力に依る防空と云ふものは、斯う云ふ際に合せてやるのでなければ到底出

來ないのであります。故に寧ろ一般の重點は軍部外官民にありと申すを得べく、従つて皆様方に特に奮起して戴きたいのであります。

東京を守る爲めの犠牲

尙ほ特に東京の方々に御願致したいのは一體何の必要があつて、埼玉縣、千葉縣、茨城縣、神奈川縣が燈火管制をやるのでありませう。

又斯う云ふ沿岸の茨城縣、千葉縣の人を以つて多數の防空監視哨を立てるのでありますが一體この防空監視哨は誰の爲に、敵機を發見して東京に報告するのでありませう。勿論自分の爲めでもありますが主なる目的は東京の爲にやつて居るのであります。東京の爲に甘んじてその犠牲を拂つてやらうと云ふ貴い精神でやつてゐるのであります。實は昨日を以ちまして私は東京府、神奈川、埼玉、千葉、茨城の各縣廳に参りまして、それ／＼首腦者を集めて説明しました。そして明瞭に今のことを説明して、皆様方はどうか甘んじて犠牲を拂つて帝都を守つて戴きた

い。帝都がやられた際に於てはその影響は決して少くない。日本全國に及んで來る。全國の日本人の士氣は帝都がやられたかやられないかに歸する。どうかしつかりやつて呉れ頼むと激勵して來たのであります。故に東京としては今回の防空演習は素より平生からも本氣になつてやつて行かなければ、この方面の人に對しても相濟まないと思ふのであります。現に各府縣に参りました際に、吾々の方は一生懸命本氣になつてやるが、果して東京では本氣になつて居るかと言ふやうな質問を屢々受けたのであります。私は、勿論東京は一生懸命やつて居る眞劍にやつて居る、まだ形には現はれないかも知れぬが、既に防護團は設立され着々その緒に著いて居ると云ふことを説明致して來たのであります。どうぞ皆様方私の以上の言葉を以て誤で無かつた様にして戴きたいと思ひます。

我が國嚆矢の燈火管制

さて此の如き一府四縣にも亘る廣い地域に於て、又燈火管制の方法も先程申したやうな方法

でやると云ふやうな例は今迄全然無いのであります。かつての名古屋とか、大阪邊りでやりましたのは電燈會社のスイッチを消した方法でやり、地域も數市、一縣を出なかつたのであります。勿論大阪、名古屋、北九州と段々進歩はして來ましたが結局其等の演習は謂はば東京に於て完全に實施せんが爲の豫行演習であつたとさへ言ひ得るのであります。随つてこの演習がまづいと云ふことになれば、それ等の地方に對しても亦相濟まなうと思ふのであります。

防空演習の概要

この演習の日時は八月の九、十、十一、十二の四日三晩でありまして内八月の九日は豫行十日は豫備であります。演習の概要を申しますならば、今回の演習に於て相手國となる假想の敵國は海軍であります。是が爲に海軍は態々航空母艦を出し、それから飛行機を飛ばして來ることになつて居ります。こゝに於て横須賀の鎮守府は沿岸に驅逐艇、水雷艇等を出し、さう云ふ風に侵入して來る航空母艦を妨害します。故に航空母艦は、それ等を掠めて接近して來なければ

ばなりません。隨て、航空母艦が演習地域のどの方面に現はれて、飛行機を飛ばすかと云ふことは全く不明であります。是が即ち實際的でありまして今迄の防空演習は或る程度迄本日は十時から飛行機が飛んで來て燈火管制を十分間やるとか、次は何時に何れの方向から來るとか斯う云ふことが分つて居りました。所が今度のはさうでない、何時來るか何の方面から來るか全く分らない。同時に苟くも敵の飛行機がこの地域上を飛んで居る限り燈火を點けることが出來ない。燈火管制が何分續くか、何時間續くか此亦不明であります。先づ大體に於て私は最大限一時間半位續くことがありはしないかと考へて居ります。之に對して防禦に任ずる飛行機高射砲等の動作がよく、地上の防護團の準備が宜かつたとすれば、この飛行機は早く去るでありませう。隨て燈火管制の時間も少して済むと云ふ結果になるのであります。斯くの如く實際的にやる演習は是亦未だ會つてないのでありまして、總ての點から言つて得る所が頗る多いと考へて居る次第であります。

併しながら今のやうに何時來るか分らないし燈火管制も何時間やられるか分らない。さう云

ふことを三晩四日もやられては堪らないのであります。實際の時ならばやるでありませうが演習の時は堪らない。そこでさう云ふ風なことをやるのは實際は一日きりであります。即ち八月九日の晩は豫行演習でありまして、この晩は今迄他の地方でやつたやうに九時から十五分、その次は十一時から二十分燈火管制をやると云ふ風にして大體夜の十二時前に終つて了ふのであります。明るる日の十日の朝から十一日の朝迄本當の一日間はこれこそ眞の演習日でありまして、この日は何時來るか分らない、何臺來るか分らない。さうして晝間に於ては主として防護の演習をやり、飛行機が模型爆彈を落し防護團の各班はそれに對する動作を實際的に研究するのであります。夜に於ては防護演習はやらないで燈火管制の方を完全にやります。實際は燈火管制も、防護も一緒にやるのですが、今度は演習ですから分けてそれをやり防護演習の方は成る可く廣く一般の人に見て戴いて、あゝ云ふことをするものであると云ふことを知らせて戴きたいのであります。そこで各區に於て少くも一箇所位見物に容易な所でやつて戴きたいと考へて居ります。さうして天候の具合が良ければ十一日の朝で全部終るのであります。併しながら防空演

習は相手が飛行機のことであり、天候、氣象に依つては飛べないのであります。殊に斯う云ふ廣い地域でありますから、東京が晴れて居ると云つても、他所が曇つて居る。雨、風があると云ふことは屢々でありまして殊に相手が航空母艦でありますから、陸上は天氣晴朗でも海上は波高しと云ふことがありまして、飛行機の飛行が出來ぬことがあります。今迄の防空演習に於ても、こんな良い天候であるのに何故飛行機が飛ばないか陸海軍の飛行機はそんなに下手なのかと云ふことを聞いたこともありますが、どうぞその邊の所は十分諒承して戴きたいのであります。天候の具合に依りましては已むを得ないのでありますから、一日延ばして十一日の朝から十二日の朝にかけてやるのであります。それでも天候が悪ければもう延ばしませぬ。是は海軍側で、爾後の演習に差支へがありますのと、もう一つは十二日は土曜日、十三日は日曜日であります。八月の十二、十三日は暑い最中で鐵道、電車は一年中の書入時であります。さう云ふ譯で人も澤山出ます。電車も増發する、かう云ふ場合に燈火管制等をして萬一事故でも出る様な事があるのを恐れます。故に夫等を考慮してそれ以上延ばさないことになつて居ります。

燈火管制の實施要領

燈火管制の實施要領に就ては先程大體のことを御話したのでありますが、今度の演習に於きましては演習の初めから一部の火は消して置くのであります。本當の時もさうであります。各人の生活上絶對必要でない、廣告燈、ネオンサイン等は此が澤山あります事は、徒らに空を赤く焼きまして、遠くから東京の所在を知らせると云ふことになります。そこで、此等の全部は豫め消して終ふのであります。又道路上には多數の街路燈がありますが、あれは理想から云へば、あゝ云ふ電燈線は家庭内需要のものと別の線であつて、いざと云ふ場合にはこれこそ電燈會社がそのスキツチを切れば一齊に消えるやうにして欲しいのであります。然るに目下の此等配電線は、街路に點けて居る電燈も家庭のも同じ線から出來て居るのが大部分でありますから街路燈をスキツチで消せば家の中が消えると云ふことになります。そこで街路燈を其儘にして置けば一本々々澤山あるので在郷軍人や青年團の人を一人／＼當てかつて置かねばならぬ。然も

上に登るには梯子でも持つて行かなければ燈が消せないと云ふことになります。設備の宜しい所の街路燈は、下で紐を引張れば消えるやうになつて居りますが、それは少ないのであります。そこで己むを得ず街路燈も成べく消し、どうしても必要なものは之を残し且覆をかけます。そこで飛行機が來ると電燈をパツ／＼とやりますから、皆様方は電燈を消して戴きたい。但し必要なものは點けて置いても宜いから之には外に光が漏れないやうな設備をして置く。かう云ふ譯になるのであります。その點に於て私共一番に心配して居りますのは夜店であります。是は中々問題でありまして、あの明りは消さないとよく見えます。うつかり消すと中には悪い者が行つて搔痒つたりする者がある。さうかと云つてその明りを點けて照らして置けば燈火管制が出來ない。中には又お前は何故消さないかと云ふてどなり込み、喧嘩口論が始まる。かう云ふことになりはせぬかと思つて居るのであります。その晩夜店を出してはいけないと云ふことは商賣人には御氣の毒であります。殊に銀座界限はさう云ふ點に於て難しい關係にあると考へて居ります。

いよいよ演習が初まつたら

さて海軍の飛行機は、航空母艦が防禦の驅逐艦等の目を掠めて東京に近接し其處より飛行を開始して必ずや目標を東京に取り、廻り道をしないで最短距離を全速力で東京の空に来て爆彈を落とし、雲を霞と逃げ去つて終ふと思ふのであります。さうすれば、地方によりましては防空監視哨を立て燈火管制をやらして置きながら演習になると飛行機の一臺も飛んで來ない。かう云ふ不満が出るのであります。蓋しこれは當然の事でありませう。さう云ふ譯であらうから、陸軍機の一部を敵側に廻はして其の不備を補ひます。そして其の飛行場は所澤で良いのであります。所澤は演習地域内で面白くありませんから、宇都宮北方の金丸河原に出張せしめ其處から飛行せしめることになつてゐます。然し東京だけは恐らく夜となく、晝となく數回襲撃して來るものと考え居ります。そこに於て高射砲が射撃し、照空燈が空を照らし、聽音機が活動する場面が出ますが、その場所は残念乍ら芝區ではなく大體に於て東京の外周であります

爆彈の威力を實演する

尙演習の直前に於きまして飛行機から落す爆彈の威力が如何に凄まじいものであるか、又高射砲の實彈射撃がどう云ふ風になるものであるかと云ふその實際をお見せする爲め本當の實彈で射撃並に爆彈投下をやりたいと思つて居ります。その場所は目下の所千葉縣の船橋附近と考へて居りますが、出來ることならば品川沖位であれば一般の人が見るに好都合であると考へて居ります。然しその點は海上の警戒、交通、危険等のこともありますので、簡単にいきませぬ目下研究中であります。何れ新聞紙上に發表されることと思つて居ります。その時は澤山で見に来て下さい。その場合飛行機から投げる爆彈は五千斤でありまして、先程申したやうな大きなものは危険で落せないであります。それでも餘程酷い場面が見られます。

平時からの訓練と準備が大切

これで大體防空一般の要領並に今度の演習の概要を御話したのであります。要するに防空、防護と云ふやうなものは心配し出せば限りがないのであります。平生から之に對する施設を整へ、準備をし、訓練をして居れば、それ程恐れるものではないと云ふことを能く皆様方は御承知になつて戴きたいと思ふのであります。徒らに右往左往して慌てることこそ最も恐ろしいものである。能く落付いて防護團、その他の指導に隨つて行動したならば最も安全である。彼のロンドン、或はパリ等に於て空襲の爲め死んだり怪我した者の大部分は空襲を受けた初期に於て、何等の訓練なく、何等の設備なく何等の統制ない時代に於て生じたものでありまして戦争の終り頃に於きましては、一度飛行機が來たと云ふ警報が傳はると道路上には人一人も通らず小學校に於ては先生の誘導の下に靜かに子供も避難所に這入ると云ふ統制が取れました結果、随分ドイツの飛行機、飛行船が來たのでありますが、暴威を逞しうすることが出来なかつたのであります。若も最初からさう云ふやうな準備、訓練、施設が出来て居つたならば、その災害を最つとく小限度に止め得たのではあるまいかと云はれて居ります。

防空と我國の現状

そこで最後に結論と致しまして若干を述べて本月の講演を終りたいと思ひます。その結論と申しますことは、要するに最近防空の聲が盛んとなり近くは大々的な防空演習まで行はれますが、一體其程目下防空準備が必要であるのか、そして防空とは相手があつての話でありませうから果して現在の情況は其程切迫してゐるのか、然らば外國の飛行機が日本を襲はんとしてゐるのか、其には現在の國際關係が如何かと云ふことを御話しすれば大體此間の事情は明らかであると思ふのであります。

ロシアと日本の將來

此點に於きまして吾々が先づ第一に考へなければなりませんのは、矢張り何と申しましても勞農ロシアであります。

勞農ロシアの現況は果してどうでありませうか。御存知のやうに勞農ロシアがまだ以前の帝政時代であつた時、その首府はペテルス、ブルグと言つて居りました。これはドイツ語であります、そこで歐洲戦争が開始され、ドイツとロシアが相戦ふに至るやロシア人は自分の首府が敵國ドイツの言葉で付けられて居るのは怪しからぬと云つてその名前をロシア語に改めてペトロ、グラードと改正したのであります。所が歐洲大戰の末期に帝政ロシアが倒れまして勞農ロシアの代となるや、勞農ロシアはペトログラードのペトロと云ふのは即ちシベリアを征服した皇帝の名前である、あゝ云ふ侵略的意味を有つ皇帝の名前を付けてゐるのは怪しからぬと云ふので、更にその名前を改正してレニングラードと改めたのであります。

東を征服することが傳統的ロシア精神

この精神が勞農ロシアの眞の精神であるとするならば、東洋に於けるロシアの根據地、先程から何度も話に出たウラヂオストックと云ふ名は果してどう云ふ意味でありませう。あれは明

にロシア語であります。而してその名は東を征服する、と云ふ意味であります。故に若も勞農ロシアの眞の精神が露都をレニングラードと改正した精神であるとするならば、このウラヂオストックの如きは先づ第一にその名前を訂正しなければならぬと思ふのであります。然るに更に名前を訂正しないのみならず、寧ろ勞農ロシア時代になりまして、愈々その本性を現はして來たと言はざるを得ないのであります。

今日のロシアは北海方面に於てはポーツマス條約に於て日本の得て居つた漁業權に壓迫を加へ、ウラヂオに於ては朝鮮銀行を壓迫して之を閉鎖立退かしめ沿海州に於ける森林事業は妨害する。樺太に於ける製油事業は妨害する。ウラヂオ附近に於ける居住權、シベリヤの旅行等に對しては大なる壓迫を加へて居るのであります。

人若し滿洲事變は滿洲に於て張作霖父子の政府が日本の權益に對して壓迫を加へたと云ふことが發端の最大原因であると稱するならば、東洋に於て勞農ロシアの日本權益に對する壓迫は又彼に劣らないものがあると云ふことを忘れてはならないのであります。

恐るべきロシアの軍備

ロシアの陸軍は日露戦争に敗れ、更に歐洲戦争に破れました結果、現在は微々たるものであらうと御考へになる方があるかも知れませぬが、現在に於けるその兵力は百三十萬であります。のみならず持つて居る兵器は歐洲戦争に於て軍隊が潰れました御蔭とでも申しませうか、その後、に於て出来た最も新しい、最も進歩した兵器を持つて装備されて居ります。然るに日本の軍隊はどうであります。歩兵の持つて居る鐵砲は明治三十八年當時に出来た三八式の鐵砲であり。砲兵の持つて居る大砲も三八式改造と云ふので三十八年に出来其後少し改良を加へたに過ぎません。斯う云ふ大砲、鐵砲を持つて居る軍隊は世界廣しと雖も日本より外にはないのであります。のみならず、先程申した毒瓦斯の如きは、その被害が甚大でありますので、國際條約に依つて、その使用を禁止されて居りますが、ロシアはその條約に加入して居らない故に公然と戦争になつたら毒瓦斯を使ふと云ふことを言つて居ります。そしてその軍隊は聯隊、大隊は

素より中隊、小隊に至る迄毒瓦斯を使ふ部隊が出来て居ります。

さう云ふやうにロシアの軍隊が良いならば、何故今度の滿洲事變に於てあゝ云ふ風に溫和しい態度を取つたのでありませうか。これは又ロシアが公言して居る點で明かであります。

日露戦争が起るかどうか

御存知の様にロシアは産業五年計畫を實施し、昨年四年で第一回五年計畫を打切り、更に本年からは二回目の五年計畫に這入つて居ります。而してその重點とする所は重工業であります。結局は軍備擴張であります。故にロシアの軍隊は年年と擴張され立派になつて居り明瞭に機械化されて居ります。然るに日本の軍隊はさうでない。今度の豫算で少しは違ひましたが、今迄の調子では人員は減る一方であり兵器は中々進式化されない。それであるからロシアでは若し日本と戦争するなら一年でも二年でも延ばした方が得であると言つて居ります。果して然らば日本に取つては、一年でも二年でも延ばす方が不利益である故に、この機會に成る可く速に

我から進んでロシアをやつつけた方が、有利では無いかと云ふ議論もあります。併ながら日本の歴史を緋いて御覽なさい。一體日本がやつた戦争で成功をして居るものは如何なるものでありませうか。是悉く相手の國から挑まれて己むに己まれず起つたものであります、日清戦争然り、日露戦争然り、今回の滿洲事變然りであります。

反對に日本から戦を仕掛けて成功した例がござらうか。遠くは豊太閤の朝鮮征伐、近くはシベリア出兵。此等は其結果がどうでありましたか。此等を考ふる時、今此れだけの事情で直ちに日本が進んでロシアを討つと云ふことが果して日本の爲になるかどうか。此れは十分に考へなければなるまいと思ふのであります。

先程申しました如く、ロシアは帝政が倒れて勞農の代となり、成る程政體は變りましたが一億數千萬のロシア人の血潮の流は政體の變化と云ふ様な簡単な事實を以てしてその方向を變へることは出来ないであります。然らばロシア人の血潮が何處に向つて流れて居りませうか。これはロシアの歴史を見れば明瞭であります。ロシアは歐洲の北部に起り爾後遂次東に向つて發

展し亞細亞にその捌け口を求めたのであります、かつては滿洲も併呑せんとし、朝鮮迄も手を出したのであります。然るに其企圖を空しくせしめたのは日本の正義の力であります。そして今尙彼が日本に對し心良からず思つてゐるのは明であります。之を考へるならば私共はこのロシアと云ふものに對して多大の關心を持たざるを得ないのであります。

アメリカと日本

その次に考へなければならぬのはアメリカであります。アメリカに就きましては申上げたことが多々あるのであります、一、二の例を引いて申上げたいと思ひます。その一つに小笠原島の問題があります。少し話が溯りまして、彼のワシントン會議の際、日本は小笠原島と九州の南方の奄美大島とに要塞を構築中でありました、所がアメリカは其會議で、「奄美大島、小笠原島の兩要塞に爾後構築を止めてもらいたい」と持出して來たのであります。日本は米國がハワイに於ける要塞の構築を爾後止めるなら宜しと返事したのであります、アメリカは之

をきかないで、僅にフィリッピンに於ける要塞の構築を中止して之と交換したのであります。當時フィリッピンの要塞はもう九割ばかり出来て居り、小笠原島は三割ばかりしか出来上つて居らなかつたのであります。

小笠原の要塞はなぜ出来なかつたか當時小笠原島に於きましては小學校の生徒が午前中は學校で授業を受け、午後になると、それ／＼擔任の先生並に校長先生に引率されて、高い所から海岸に降り紅葉のやうな手で砂を運んで要塞の處に持つて行つてベトン工事の援助をやつてゐたのであります。それ等可憐なる小國民の努力空しく今のやうな譯になつてしまつたのであります。何故そんな馬鹿なことになつてしまつたか。若しも當時に於ける國民の之に對する熱、之に對する後援が、少くとも現在の半分位でもあつたならばそんなことにはならなかつたのではなかつたらうかと感ずるのであります。

この小笠原島に對してはアメリカはズット以前から關心を有つて居たのでありまして、この點又吾々として非常に考へなければならぬ問題であります。

皆様はアメリカから明治維新前當時日本に來ましたペルリと云ふ男を御存知であります。日本の歴史に於きましては、彼は開國の恩人であると云はれて居りますが、果して彼れは恩人であつたのでありませうか。當時アメリカはアメリカ大陸の西端カルフォルニアが其の手に入つたので、其後は盛んに其の捕鯨船が東洋に來て、日本の近海を荒し、鯨や臘肭臍、臘虎等を捕つて之を持つて行つたのであります。

ところがその捕鯨船が難破して日本沿岸に到着しましたが、當時日本は未だ開國して居ないから水も石炭も呉れない。そこで時の大統領がペルリに命令を下し、軍艦を持つて東洋に至り東洋の何處かの島を占領して、アメリカ汽船の爲貯水所並に貯炭所を造れと言つて彼を東洋に派遣したのであります。そこで彼が目をつけて來たのが琉球の島であります。あそこに來て隈なく探しましたが、そこには水も石炭もない。そこで目を轉じて來たのが小笠原島であります。隈なく探しても、そこには水はあるが、石炭がない。但し其處には現在二見港とか言つて居りますが、非常に好い港があることを發見し、一隻の軍艦を其處から歸して報告せしめると共に

主力を以てやつて来たのが浦賀であります。

さうして日本の徳川幕府に開港を迫りましたが、幕府が聞かない。そこでペルリはそれでは一年間裕餘しやう。來年軍艦を倍にしてやつて來るからと捨臺詞を残して歸つたのであります。翌年彼は約束通りに軍艦を倍にして浦賀にやつて來て開港を迫つたのであります。遂に幕府は開港をしたのであります。之を稱して恩人であると言つてゐます。勿論見方に依れば恩人であるかも知れないが、動機を尋ねれば恩人どころではないのであります。

ペルリ以來の傳統的外交政策

然しペルリの當時の遣方は爾後日本に對するアメリカ外交政策となつたのであります。即ち背後に武力を擁して何事もやらさんとする賄外外交であります。ワシントン會議然り、ロンドン會議然り、滿洲事變にも此手を用ひんとしました。唯現在に於きまして、アメリカは其武力を直接日本の側につき付けぬ代りに太西洋方面の軍艦までも之を太平洋に集中して色々なや

みを言つて來るの差あるのみであります。然し今日の日本は決して昔の日本ではありません。もうそんな事にはビクとも致しません。

米國の眼は日本に向いてゐる

昨年米國で大統領の選挙があり、本年三月初めを以て大統領は共和黨のルーズヴェルトに更りました。當時日本の言論界方面に於ては、大統領は今度は以前と反對の共和黨である。従つて將來日本に對する外交は好轉するであらうと云ふやうなことを盛んに言ひました。成る程大統領は更りました。然し、アメリカ人一億數千萬人の内に流れて居る血潮の流までが大統領の更迭と云ふやうなそんな簡単な事によつて變ることはないのであります。然らばアメリカ人の血潮は何處に向いて居りませうか。此れはアメリカの歴史を見れば明瞭であります。アメリカは其大陸の東海岸に起り、逐次西に移つて大陸を制服し終るや海を越えてハワイを取り、更らにフィリッピンを取り、今や支那に向つて非常な力を及ぼして居ります。其の行動に對し最も

邪魔になるのが日本であります。彼等が日本に對し如何に思つてゐるかは想像に難くないのであります。

歐洲と日本

更に眼を轉じて歐洲方面を觀ますならば、其處には直接日本と問題を有する國は尠いのであります。彼等の主張を見るべく最近の國際聯盟に於ける彼等の態度を一瞥したいと思ふのであります。國際聯盟が出来た當時日本に於ても今後戦争と云ふものは無くなるのである、そして日本は歐洲の問題に對して口が利けるやうになつた常任理事で世界五大強國の一であると言つて喜んで宣傳をした人もあつたのであります。其後國際聯盟が事實平和に役立つたこともありましたが、そして成程日本が歐洲の問題に嘴を出したこともあり。段々話が長くなりますが歐洲戦争が終つた際に、ドイツの國境を決める委員が出来ました。此の委員は重要な委員であります。何せドイツの國境を成るべく狭めて小さくしやうと云ふのですから、そんな役になる

ことは歐洲國は皆厭がります。苛めて怨まれるのは厭である。そこでその委員長に日本人が選ばれたのであります。そしてその下に各國が集つてドイツの國を今の様に狭く定めたのであります。これが爲めドイツは今でも尙盛んに日本を怨んで居ります。

國際聯盟と日本

即ち聯盟はさう云ふ役は日本に廻し、日本人を委員長にして居りますが、其他の重要な役では中々日本人を委員長等に致しません。此の如くして愈々一昨年滿洲事變が起りました。さて一部東洋の問題となると、彼等は従前の事は知らない顔をして、いやそれどころでない。盛んに小國をかたつて、小國がきかない、俺は仲好くしたいが、小國がきかないと小國をだしにして好い事を云つてゐます。かつて歐洲の問題に口が出せると云つて喜んだ日本が、愈々東洋の日本に最も關係の深い問題となつた時に東洋の事情に關し認識不足の彼等に餘計な口を出さしむるに至つたものは即ち國際聯盟であります。こんな馬鹿げた聯盟なら一刻も早く脱退する外

に途はありません。翻つて國際聯盟なるものを見るに各國共自己の利益は遠慮なく主張するが自己を犠牲にしても他處の國の爲に盡さう、といふ様な國は何處にもないのであります。これでは議論が一致する筈が無いのであります。

日本の頼みは日本人自身である

此の様に役に立たない國際聯盟ではありますが私は一つだけ國際聯盟から良い事を學んだ、これのみはお禮をいふて良いと思つてゐることがあります。それは外でもありません。この國際聯盟に於て結局國際聯盟といふものは頼みにならない。好修國、同盟國と雖もいざといふ場合には頼みにならない。いざといふ時に日本國の爲に本當に日本の頼みになるものはイギリスでもフランスでもない。況んやアメリカやロシアではない。それは日本人自身大和民族其れのみであるといふことを明瞭に教へて呉れたことでもあります。(拍手)これこそ私は日本が、永い間國際聯盟に席を置いて得た唯一のものであつたと思ふのであります。と同時に我々日本

人は唯互ひに依頼し合つて居てはいけない。どうしても我々日本人は全ての點に於て一致協力して行かねばならないと痛感する。

日本精神と防護團精神

此處で話は元に戻ります。今申したこの精神こそは實に其儘防護團の精神であると思ふのであります。東京市が將來何か災害を受けた時、芝區が何か災害を受けた時、本當に東京市の爲に、本當に芝區の爲に働いて呉れる人は誰れでありませうか。其は大阪人でもない。名古屋人でもない。東京市民であり、芝區民である。即ち皆様方でありませう。即ち此精神に立脚し自分の處は自分で守るといふ精神を發揮したものが、即ち防護團であります。併しながら私は更に申し上げたいのであります。滿洲事變以來日本の國民は以上の精神を諒解し、一致協力してやつて居ります。併しながら精神的團結、舉國一致といふことのみを以て國際關係の總てを律し得、且つ日本の發展を期し得るでありませうか。若しも此精神力のみを以てして全てが出来ると思はば

想起する四十年前の日清戦争後に於て現出したあの三國干涉の時、日本は何故に彼等のいふ儘にしなければならなかつたでありませうか。當時に於ける日本國民の協力一致は恐らく現在にも劣らなかつたでありませう。然るに彼等の前に其いふが儘にせざるを得なかつたのは、當時の國力、就中武力がその三國の中の何の一國に對しても劣つて居るといふことを自覺したからであつたではありませんか。

いざといふ時の備え

然らば現在は果してどうでありますか。國民の協力一致は非常なものである。一方武力は當時の陸軍が六萬人六師團であつたのが、途中色々故障はありましたが、兎に角現在二十三萬を持つて居ります。海軍は當時の五萬噸が、今は七十萬噸ある。これ等が協力し、國民と一致して力を協せるに於ては假令敵國の一國は愚か場合に依つては二國三國東になつて來いといふ強い自信がありますから、それが外に表はれては未だ曾てない所の自主強硬外交となつて現はれ

戰場にある將兵は命を捨つることを惜まない。これが内に表はれては精神的に國民の一致となり物質的には未曾有の不景氣を超越して献金となり、慰問となり、其額千萬圓に至らんとして居る。この盛大な有様を見ては、外國は恐しくて日本に手が出ないのであります。これは防護團も亦同様であります。

防護團員が定り其が集つて議論をし、一致協力した、嘗それだけでは防護團はいざといふ場合に役に立ちませぬ。防護團としての意氣はそれで宜しいが、それでは未だ防護團としての力が無い。然らば防護團の力とは何であるか。防護團としての力は即ち施設であり、訓練であります。この防護團に施設と訓練とが出来て居なかつたならば、これ亦いざといふ時に敵機の前に無條件に頭を下げなければならぬのであります。若し人の和に加ふるに力の和が出来て居たならば空襲何のそのであります。

斯く觀來る時今回の防空演習は實に重大なる意義を持つて居るのであります。即ち、その實施が立派に出來たと致しますれば既に外國に示して居る日本の精神的協力一致の上に更に之を

事實上に具體的にその力を示すことが出来るからであります。然る時は恐らく外國は益々恐れを抱いて日本に向つては空襲が出来ないと斷念するに至るでありませう。言換ればこの防空演習實施成績の如何は彼等に空襲の機會を與へるか、或は又全く彼等より其の機會を奪ふかのものであります。其の何れとなるやは一に皆様方の努力次第であると思ふのであります。若し幸にして此れが好成績に了るに於ては敵をして我をうかゞふの機會を斷念せしむるものであつて、本日講演の當初に於て防空の第一は敵の飛行機を我國土の上に寄付けないにある、そしてそれには帝國陸軍海軍の力を以てやるのだといふことを申上げましたが、更らに之に加へて國民の力で敵の飛行機を國土に寄付けないやうにすることが出来たならば、これこそ最良の防空でありまして、孔子の所謂戰はずして敵に勝つ上の上なるものであると信するのであります。どうぞ皆様さういふ意味に於きまして、この八月の防空演習には折角今から着々御準備をお進めになり、立派な成績を現はし下さいます、之を以て最後の目的である所の最良の防空たらしめられんことを切に希望して私の講演を終りたいと思ふのであります。(拍手)終り

次 號 豫 告

國際政局と我が國の立場

前全權公使 堀口 九萬吉

世界各國の國民性と熱河事情

陸軍中佐 石井 良吉

六月十五日發行

講師石本五雄氏は今夏の防空演習を控へて日夜御繁忙のところ、特に本講演速記を御自身で御校閲下さいました。茲に厚く謝意を表します(日本講演會)

伯爵 奧平昌恭閣下題字
芝區會議員 德安實藏著

選挙の汚染

政黨の墮落、自治體の腐敗、總てその原因は選挙にあり。即ち選挙界を淨化することによつてのみ始めて、政黨及自治體の更生は期し得らるゝ。著者は選挙界に馳驅すること多年、今その裏面史を綴り、且之が對策を公けにす。議員是か、選挙民否か？乞ふ。本書によつて判断せられよ。

内容

- A、あゝこの選挙
一、選挙界の現状斯の如し
二、斯くして選挙界の淨化を行ふべし
- B、候補者と事務長の日記
一、候補者の日記
一、事務長の日記

C、破れたるものゝたわごと
腐敗せる選挙界の裏面を赤裸々に語れるもの本書以外になし。

(四六版三百二十頁定價一圓送料十二錢)
東京市芝區新橋六丁目三

日本書房

電話芝七四〇番

□ 入會の栞

本會はどなたでも本會の趣旨に賛成して御入會下さる方を歓迎いたします。入會書は書面又はハガキに住所、氏名、業務及び年月日を記し、捺印の上御差出し下さい。

□ 會費

一ヶ月五十錢、半年參圓、一年六圓、總べて前金のこと、但し御入會の際は半年分以上御拂込を願ひます。御送金は本會振替口座を御利用下されば最も確實でございます。

□ 特典

會員には本會刊行の講演パンフレット月三回配布致します。又講演會・展覽會・映畫會の幹旋及其他諸般の調査をいたします。御遠慮なく御利用を願ひます。

昭和八年五月廿一日印刷納本
昭和八年六月五日發行

(定二十五錢)

禁轉載

東京市芝區新橋六丁目三番地
編輯發行 德安實藏
身印人
東京市芝區新橋六丁目三番地
印刷所 運輸社印刷部

東京市芝區新橋六丁目三番地七

發行所 日本講演會

電話 芝七四〇番
振替 東京 五四五六番

